京城日報

廿三日夕刊

京城太平通一丁目　發行所　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

支那の形勢

▲北京形勢不穏
段總理の警戒―議員續々避難

督軍團と議會との衝突はクーデターと爲り北京に擾亂起るべしとの危惧説流布され總統府の周圍は今や戒嚴令を布き段總理は出入共に多數の角巡巡査をして要路を警戒せしめ自衛の方法を執り議員中には外國ホテルに移る者家族を天津に送る者あり中國工商銀行劵の時價下落し物價騰貴の傾向を見るに至れり（北京特電）

▲治安保持と軍隊

中央銀行總裁、歩軍統領、警察總監等は市場保護の爲め聯合會議を開き若し北京にして擾亂の巷とならば南苑の第十二師と保定の第三師を招き治安保持に當らしむべし（北京特電）

▲天津附近軍隊動く

天津附近馬廠の軍隊約六百名は二十日北京に向つて出發せるが下車驛不明なり猶楊村の一個聯隊は二十一日馬廠に向ふと稱し出發準備中なるが或は北京に向ふやも知れずと（北京特電）

◎鐵道院副總裁後任
中村是公氏と決定

鐵道院副總裁古川阪次郎氏辭任に就き其の後任詮考中なりしが二十二日の閣議に於て前滿鐵總裁中村是公氏に決定せり（東京特電）

◎侍従武官通過

天皇陛下より御差遣相成りたる侍従武官騎兵大佐渡邊爲太郎氏は二十三日朝對馬丸にて釜山着同十時三十分發列車にて奉天に直行せり（釜山特電）

◎稻垣中將通過

英國駐在帝國大使館武官より參謀本部附に轉じたる稻垣陸軍中將及び同地出張中の楠村砲兵少佐は歸京の途二十二日午後七時着列車にて來釜同夜八時四十分出港關釜連絡船高麗丸に搭乘歸東の途に就けり（釜山特電）

◎一條海軍中佐視察

海軍司令部參謀中佐一條實孝氏は二十三日朝内地より釜山着鎭海灣視察に向へり（釜山特電）

◎島津男爵通過

貴族院議員男爵島津長丸氏は二十三日朝鹿兒島より釜山着同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎洮庫鐵道再燃

奉天、洮南より外蒙庫倫に到る所謂洮庫鐵道敷設案は先年北京政府に於て計畫せられ偶々財政困難の爲め停止となりたるものなるが先頃駐扎辦事大臣陳都護使は北京政府に對し「活佛は洮庫鐵道に甚だ注意し若し支那政府にして之れが敷設を決定するにおては庫倫政府は其一半工費を支出し支蒙合辦事業となさん事を提議せり本鐵道竣成せば奉天蒙古間の交通は西比利亞を迂回するの要なく非常なる利便なり工費は約五六千萬元を要する見込みなるが歐戰未熄の現在に於ては外資に依る事能はざれば公債を發行するの外なけん」との意味を通告せり交通部は該鐵道が奉天省に至大の關係あるを以て數日前右の趣きを張督軍に移牒し其の意見を徵したりと（北京）

◎日本砂糖の大注文

哈爾賓露商の傳ふる處に據れば今回佛國政府は露國糖業公司と合同して日本より紅白糖三千噸を一噸二百二十五元宛にて購入すべく契約したるが尚此外にて白糖四萬噸を購入の豫定なりといふ（哈爾賓）

◎總督官邸張宴

長谷川總督は二十六日午後零時三十分より目下團隊長會議の爲め入京中なる大村少將以下各團隊長二十餘名、並に軍、師團の主なる人々を龍山總督官邸に招待午餐會を開く總督府側よりは本府並に所屬官署内勤任官以上の職員列席の筈なり

◎軍司令部團隊長會議

朝鮮駐劄軍（第十九師團所屬を除く）の各團隊長會議は第一日は二十三日午前九時より軍司令部に開會午前は秋山軍司令官の訓示、白水參謀長の注意事項あり午後は生井法官部長、廣瀬經理部長の口演にて散會せしが列席者は團隊長十三名秋山軍司令官白水參謀長以下軍司令部各部長參謀副官並に總督府より高橋武官列席し總員二十五名なりと

◎對敵通信取締

對敵通信取締に關し五月十二日附發布の府令第百一號中改正の件は二十四日附府令を以て發布、即日より實施の事となれり、本令は遞信省令第十四號と同一の取締を追加せるものにて、結局同令の九「本令第二號乃至第五號の規定は事業の全部又は一部が敵國人に依り管理せらるゝ法人にして敵國籍を有せざるものに之を準用す」を實行するに在り

◎昌徳宮牡丹宴

昌徳宮秘苑の牡丹今や滿開に就き李王殿下は二十四日午後零時三十分より長谷川總督、山縣政務總監、秋山軍司令官、立花師團長並に總督府官房職員等を同宮内仁政殿に招き觀牡丹旁々午餐會を催さるゝ事となれり

◎内山大將動靜

内山侍従武官長は二十一日午前八時三十分總督府に長谷川總督、山縣政務總監を訪ひ歸還の挨拶を述べ次いで龍山に秋山軍司令官並に立花師團長を訪ひ午後二時より昌徳宮に李王殿下、德壽宮に李大王殿下に謁せり

氏は二十四日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京歸還の筈なり

◎島津男夫妻來鮮

貴族院議員男爵島津長丸氏（舊宮之城主）は夫人はる子を帶同して廿三日午後九時南大門驛入京すべし夫人はる子は彼の有名なる齊彬公唯一の血統を引ける愛孫にして夙に育英事業に從事し現に鹿兒島鶴嶺女學校長たり滯在期間は約四五日にして關屋局長官舍に投ずる事となる可し

◎原田氏動靜

京都同志社大學長原田氏は久しく北支方面視察中なりしが二十二日夜入京朝鮮ホテルに投宿直ちに南大門通京城教會に於て支那に對する基督教の使命に就いて講演を爲し二十三日市中有力者を訪問同日午後七時五十分發列車にて退京す

◎警察官異動

二十二日附警察官に左の通り異動ありたり

黄海道警務部勤務警部　宮田弘
警官練習所勤務を命す
黄海道警務部勤務警部　中口光太郎
槐山署長　原清治
全北警務部勤務を命す
槐山警察署長を命す　小野英勇
京城鍾路署勤務警部
全北警務部勤務を命す
京城鍾路署勤務を命す　田邊秀敏
高等警察課勤務警部

◎五年度の東拓事業
總會席上石塚總裁の演說要旨

株主各位、本日當會社第九回定期株主總會を開くに當り御繁用中にも拘らず御來臨を辱うせることを深謝す

今例に依り大正五年度に於ける各事業の成績を略言せむに朝鮮に於ける各種産業は政府の施設と民間の經營と相俟て逐年發達しつゝあり殊に農事の改良に付ては優良種の撰擇、耕作方法の改善等に對する政府の指導獎勵漸次其の効果を顯はし當會社も亦政府の方針に遵由し社有地の管理利用の改善に盡力し以て逐年收穫の増進及び確實を期しつゝあり

▲籾收入と處分　本年は南鮮地方に於ける稻作は多大の水害を被りたるも平年に於ける旱害地及び西鮮地方は比較的豐作なりし結果籾二十九萬一千餘石を收納し前年度に比し三萬六千餘石を増加したり而して收納籾の處分に付ては本年は戰亂の影響に依る船腹不足の爲め鮮米の内地移出に困難を來したるも一方露國に對する輸出増加と内地米價引締の影響とに因りて秋收以來常に堅實の價格を維持したるを以て當會社產米の處分も好都合に進行し本年度内に相當の價格を以て賣却することを得たり

▲採種小作田　本年度に於ける採種小作田は從來の方針に依り各出張所管內を通じて二百四十五町歩に之を設け收穫籾の內約三千七百餘石は明年度改良用種子として之を準備せり、改良種の普及に付ては作付總面積約一萬九千町歩に達せるも南鮮一帶は挿秧期前後より八月初旬迄降雨頻繁なりし爲め平野の低地は概ね水害を被り稻苗の流失腐敗せるもの尠からざりし然れども水害を被らざる地方に在りては用水潤澤なりし爲め順調に生育し前年度に比し約一割の增收を示せり尚新に改良種の普及を要すべき適地は約八千町歩の見込にて大正七年度迄には全部普及を完了する豫定なり

▲大豆作改良　大豆作の改良に付ては約三十四町歩の種圃を設けて明年度改良用の種子として七十五石を準備せり又前年度種圃より生産せる種子を以て約百五町歩に普及栽培したるに播種後降雨頻繁なりしと結實期に氣溫の下降急激なりしとの爲め前年度に比し約一割七分の減收を示せり

▲水利と開墾　水利灌漑及び未墾地開墾事業は朝鮮拓殖上急務とする所にして現に當會社經營に係るものは前年來施工中なりし平安北道泰川灌漑工事及び京城府外長安坪國有草生地開墾工事は共に本年度に於て改良工事を竣へ後者は事業成功し無償附與を受けたり又本年三月其の筋より新に起工せるものは全羅南道靈岩郡三面所在社有地約二百町歩に對する機力用水工事全羅北道益山郡雖岩里所在國有草生地約百十町歩の開墾工事及び慶尚南道梁山郡所在社有地約八十町歩の改良工事等にして既に前二者は完成し後者は近く竣功の豫定なり、果樹園及び其他畑作物の改良、耕牛の貸付、造林の經營は豫期の如く著々進捗し明治四十四年事業經營當初に植栽せる黄海道所在山野四百七町歩は造林成功せるものと認定せられ昨年十一月其の筋より讓與せらるゝに至り又竹林の經營は集團せる適地少き爲め今後擴張の餘地多からざるも現に模範竹林として所期の目的を達し相當の効果を擧ぐることを得たり

▲拓殖資金　朝鮮に於ける拓殖資金の需要は前々年度來の穀價並に地價の引締不況なりし情勢を受けたると歐洲戰亂勃發以來一般に固定的投資手控の傾向ありし結果沈靜の域を脱すること能はざりき茲に本年度末に於ける大體を述べむに農工銀行貸出總計二百六十餘萬圓、各金融組合貸出總計二百十餘萬圓に當會社の貸出を加へ漸く一千萬圓に達せざるに過ぎざるも前途水利事業耕地整理事業其の他諸般の拓殖事業に對し資金供給の餘地尚頗る多きは論を俟たす今當會社本年度中の貸出狀況を見るに貸出總額は百六十六萬九千餘圓にして前年度に比し三十九萬七千餘圓を増加せるも一面農工債劵の期限前償還五十五萬圓ありしと普通貸出金の期限前償還豫想外に多かりし結果結局本年度末現在貸出額は前年度に比し五十四萬一千餘圓を減少せり尤も昨年九月以降貸出手續を簡捷にし又金融の大勢に鑑み本年一月中旬以降貸出利率の低減公共團體貸付に關する調査費の免除不動産擔保貸付に對する鑑定料の返還等を行ひ大に借入申込者の便益を圖りたると一方米作の豐穰及び穀價の恢復に因り近來諸般事業活況を呈し漸く資金の需要旺盛の趨勢あるを以て來年度に於ては相當の貸出を見るに至るべく將來益金融事業の擴張を圖ると共に堅實なる企業の助成に努めむことを期せり

▲殖民事業　殖民事業の健全なる發達は國家の要求に副ひ移住民の著實なる成功は鮮民の啓發同化に資する事大なり當會社は既に本年度迄に七回の移住民を募集收容し今や其の總戶數三千七百七十四戶、人口一萬三千八百三十三人、割當土地面積五千五百餘町歩を算せるが移住後の成績は當會社の保護指導と移住民の勤儉力行とに因り概して良好にして生活の基礎漸く安固ならむとし附近鮮人に永住土著の念亦鞏固なることを示し相互の融合を遂げ地方經濟の發達を促進しつゝあり而して大正四年移住規則の改正を爲せしも本年二月第八回移住民の募集に先ち從來の經驗に鑑み將來の必要に應じ更に之が改正を行ひたり其の要旨は移住民に對する土地讓渡及移住費貸付の方法條件を改め且從來に比し一層其の保護を厚くし移住地の設備を完整し益々永住土著の基礎を安固ならしめて以て其の成功を企圖せるものにして之と同時に移住民の募集及選擇に付ても從來の方法を改め本年四月より下關に出張所を常設し社員を派して直接移住希望者に接觸せしめ之が著實の精選に留意して堅實なる移住民の招來に努め以て殖民事業本來の目的を達せむとす若夫現在の移住民中性行不良到底成功の見込なき者に對しては斷然移住契約を解除し以て肅清を圖るの外なきを信ず

▲順調の發達　以上は大正五年度に於ける事業の概要にして其の詳細は營業報告書に依り熟知せられむことを乞ふ之を要するに當會社の業務は漸次順調なる發達を遂げつゝあるが將に本年度に於て豫想外の收益を擧ぐるを得たるは主を天候の順調、小作料の收、穀價の恢復等に因るものとす終に臨み特に一言せむとするは不肖昨年十月總裁の職に就き次で松平、川上、高瀬の三理事の新任を見たり爾來協心戮力事業の改善、擴張に留意し調査計畫中に屬するものも尠からず將來各位の同情と援護とに依り所期の目的を遂行し以て益々社運の隆昌發展を期せむとす冀くは此の意を諒せられむことを

◎紙料工場の設置計畫
鴨綠江岸に實現せむ

鴨綠江岸の豐富なる木材を利用する紙料製造事業の有望なることは夙に識者の注目する所となり、當局に於ても之が調査を爲しつゝあり洋紙界需給の狀態今日の如く、將來益々製紙事業の有利なる趨勢に鑑み當業者中には既に鴨綠江岸に工場設置の計畫を立て居る向もあり過般王子製紙會社の藤原專務の來鮮の如き明かに工場設置の準備たるを察知するに難からず一方には富士製紙も亦計畫中なりと傳へらる、近く朝鮮に紙料工場の設置を見るに至るべしと觀測せらる

◎平安丸の進水
朝郵の新造船

二十三日午前七時三十分神戸川崎造船所に於て朝鮮郵船會社新造汽船（一千五百噸鋼鐵製）の進水式を擧行したるが無事好成績にて終了阿部工學士令孃せつ子ロープを斷ち平安丸と命名したり尚ほ會社よりは堀上谷兩取締役永井船舶課長等列席せりと

◎巨濟島鯖漁盛況

巨濟島近海に於ける鯖漁業は昨今非常の盛況にして去る十七日より二十日迄の間に於て百五十萬尾を漁獲したるが從業し居れる漁船は巾著網三十三統、網十四組、流網十一組ありて此等の漁獲物を運搬すべき發動機船五十隻及び帆船六十隻ありて多くは生魚の儘內地へ運送しつゝありと（釜山）

◎採氷許可

慶尚北道達城郡を貫流せる琴湖江に於ける採氷事業は從來有望なるものと認められ居りしが今回大邱山崎角吉氏之れが經營を爲すこととなり同江一千八百五十一坪の流水占用出願中の所其筋より許可ありたり

□北陸と北鮮
二十日　井上孝哉

貴社滿洲視察團の成功を祝し上候此次ぎは朝鮮在住者の北陸觀察團御企劃願上度、小生も何とかして北朝鮮と北陸との結び附けに努力を試みたしと考へ居り候、又越路の健兒は殖民の人として最も好適なりと存じ候、二十日午前特命檢閲使としての閑院大將宮殿下を富山に迎へ申上候、二十日より五日間本縣に御滯在遊ばさる、小生は一昨年京城にてお迎へ申したる事など憶ひ出し候匆々

◎林事務官入營

慶北事務官林繁藏氏は第一次勤務演習の爲め來る六月一日より八月三十日まで第十二師團第四十七聯隊に入營すべく二十四日大邱出發の筈（大邱）

◎北鮮の御慰問使

御慰問使内山侍従武官長一行は十三日午後安平丸にて清津に上陸し十四日羅南、十六日會寧、十八日鍾城の日割にて各部隊を巡視聖旨を傳達したる上十九日午後七時清津に歸著光清館に一泊し二十日午前九時宮島丸に乘船清津を出發南下せり（清津）

◎山梨中將動靜

教育總監部本部長山梨中將一行は十八日午後宮島丸にて清津上陸即日羅南に向ひたるが羅南より會寧に向ひ其れより國境第一線を巡視したる上雄基に出で本月末清津に歸著南下の豫定なり（清津）

◎安東小學移管

安東居留民團の經營に屬する安東尋常高等小學校の滿鐵移管の件は去る三月下旬安東領事館を經て主務省へ申請中の處愈々三月三十一日附にて認可の旨二十日安東領事館へ來電ありたるに付近日中主務省より書類の到著するを待ちて當事者立會の上愈々之が引繼を行ふ筈（安東縣）

◎平塚檢査官消息

會計檢査院平塚檢査官一行は十八日宮島丸にて清津に上陸一泊の上十九日清津運輸部、倉庫等の會計檢査を爲し午後羅南に向へるが羅南より國境方面に赴く筈（清津）

地方通信

＝仁川＝

▲間島視察團歡迎　二十四日午後一時四十分仁川著の間島視察團は稅關府廳築港其他の視察をなし終列車にて退仁の筈なるが同日は楠野府尹奧田貞次郎崔應三梁谷朝新社長今井京日支局長五氏の發起にて午後七時より仁川俱樂部に於て歡迎會を催ほす由▲愛婦見學　仁川愛國婦人會及び特志看護婦人會員は二十二日築港の見學をなしたり▲步兵大隊行軍　龍山駐在七十八聯隊第二大隊將校以下四百七十名は二十五日仁川著一泊の上廿六日早朝龍山に向け出發の筈なるが宿泊は內地人家屋及び鮮人家屋へ半數宛なりと▲當選確定期日　二十一日施行せられたる仁川學校組合議員選擧に於て選擧せられたる職員の當選確定期日は二十六日にして廿七日告示をなす可く組合會議は多分六月上旬なる可しと▲共同墓地新設　朝鮮人共同墓地は嘉洞にありたるも今や全く狹隘を告げたるより仁川府廳に於ては富川郡文鶴面舛基里なる趙重應子所有地二萬坪を買收の上完全なる設備をなす可く計畫中の處大體の設計も出來上りたるを以て岡本島崎兩府吏員は二十三日實地踏査の爲め同地に出張したり

＝清津＝

▲清會鐵道近況　清會鐵道は材料の供給意の如くならず爲め本秋を以て全通の豫定なりし清會鐵道は當局者の談に依れば路盤工事は著々進捗して近く竣成すべく只軌條の到著如何に依りて全通の期決定すべきが豫定の如く八月中に軌條到著せば本年内に全通の運に至るべきも萬一軌條廻著が其期を逸せば已むなく來年の解氷期迄遲延せざるべからず尚は輸城川の架橋工事も橋桁材料本秋迄に全部到著せしむるを以て之れ亦た全部の竣成は明年ならんと▲農作物好況　北鮮地方は本月に入りてより時々降雨あり目下播種期に際して土地適當の濕潤を有するより播種上好都合にて發芽良好なるを以て農民は早くも本秋の豐作を豫想しつゝあり▲清津開鱈活況　清津近海の鱈漁は四月以來頓に盛漁となり從つて開鱈の製造も活況を呈し四月中清津港輸移入開鱈は約二萬圓に達し前年に比し倍加せるが之れ近海鱈漁業の發展と製産開鱈の聲價向上と戰亂の爲め諾威、米國産品の一般同地方需用に不足を告げし結果本地産品の支那より外に歐米にまで販路擴大せる結果ならん▲清鏡間自動車　清津松本組に於て過般營業許可を得たる清津鏡城間の自動車運轉に使用すべき自動車一臺は本月十二日到著するを以て目下試運轉中にて追て營業開始の筈なるが咸北に自動車の運轉は之が嚆矢なり

＝大田＝

▲お札博士去來　有名なるお札博士スタール博士は二十二日午後零時二十五分著列車にて大田に來り直ちに金郡守の東道にて鷄龍山參觀に赴きたり因みに同一行には公立大田尋常高等小學校落合訓導同行專ら同山の植物學上の說明をなしたり▲局長慰安會　永谷大田郵便局長は大邱琴古流川瀨派の特志家古本憲雄氏の來田を機とし局員家族及び同好者を十九日午後七時より自宅に招待し琴三味線の合奏演奏會を催したり來會者四十餘名非常の盛會にして午後十一時散會したりと

＝光州＝

▲本道棉花調査　臨時産業調査局技師世部彰同技手伊藤榮爾兩氏は近く來光の上本道棉花に關する調査を遂ぐる筈なり▲棉花發芽　先般播種を終りたる本道棉花は此頃漸く發芽を見るに至りたるが昨年は雨の爲め濕潤に過ぎ本年は降雨なき爲め發芽狀況良好ならず此際降雨は棉花の爲め大福音にして栽培者は何れも雨を渴望しつゝあり▲土地調委員會　全南土地調査委員會は廿一日開會宮木委員長以下委員及び臨時委員出席午前中に議了して散會せり▲長城神社認可　長城東山神社は豫て認可申請中の處十八日付を以て認可の指令に接したるより近く大祭を擧行すべく準備中なりと▲前警務部長記念品　前本道警務部長浦野中佐に記念品贈呈の爲め官民より出金中なりし金員は、約二百圓に達したるより之を締切り近く發起人會にて品名を定め注文の筈なりと▲火葬場位置變更　光州學校組合經營にかゝる火葬場豫定地は其位置に就て官憲側の異論ありたる爲め今回組合會議を開きて之を變更する事となりたるが多分現豫定地たる瀋陽街道監獄裏手より多少東寄りとなり工事は來月上旬著手の筈

人事消息

▲保田長胤氏（鐵業家）　二十三日朝入京
▲石川鶴吉氏（平壤監獄典獄）　同上
▲前田信兆氏（平壤地方法院長）　同上
▲伊藤信郎氏（鮮銀開原出張所長）　兩三日前入京不知火に滯在中
▲宮本高水氏（退役業）　二十二日夜退京
▲赤平良一氏（慶南昌寧署長）　二十四日午前南大門發の南行にて赴任

●米澤市大火
三千餘戸烏有に歸す
電信電話全く杜絶し死傷者擧げて數ふ可からず

【米澤】廿二日午前十時山形縣米澤市代官町飯澤庄七方より出火折柄の西北風に煽られ火は見る〳〵間に四方に延燒し午後四時迄に高等工業學校、中學校、高等女學校、裁判所、稅務所、監獄、郵便局、停車場、新聞社、各銀行、重なる旅館料理店、遊廓其の他三千餘戸を燒き盡し殆んど全市を烏有に歸せしめたるが當日は恰も春季淸潔法施行日にて家財を取り散しありたるに火鉢を轉覆して終に此の大事を惹起したるものにて火元なる庄七は無慘にも烈火の裡に燒死し猶火勢烈風と共に擴るや高等女學校生徒二名は烟の裡に包まれ方向を失ひて悶死し其他負傷者、行衞不明者擧げて數ふ可らず電信電話は全く杜絶し電燈は消え暗夜の燒け跡を市民が右往左往に走る樣凄慘言語に絶し今後市勢の恢復頗る困難ならんと(東京特電=號外再錄)

●黄海丸 無事離礁の見込み
乘客及び郵便物の陸揚を終る

朝鮮郵船會社の門司雄基間命令航路就航船黄海丸(七百七十噸)は廿二日午前一時元山より釜山に航行する途中江原道注文津の北方二哩牛岩津沖の暗地近くにて坐礁したるが深夜の事とて船客の混雜大方ならざりしも

■天明を俟つて 乘客七十三名並に郵便手荷物全部を無事に揚陸し而して貨物は積載五千七百個の中約千個の陸揚をなせし外其他は浸水を受けし模樣なり遭難の原因は不明なれど多分深夜の事とて針路を誤りしに非ざるかと云ふ右急報に接し朝鮮郵船會社にては救助のため江原丸を元山より急派し同船は二十三日午前四時現場到著

■直ちに作業に 著手し又海事工業會社の救助工作船第三魁丸は同じく救護のため二十三日朝門司發現場に向ひたりとの事に付多分離礁すべき見込みなり而して同船は四十一年八月の建造に係る新船にて船長は大井季治氏乘組船員三十一名あり尙ほ朝郵にては三月末全羅丸を失ひ又復今回の海難に遭ひ殊に船舶は同社の中堅なるため吉田專務以下今後の經過に付憂慮し居れり

大相撲總評
回大關の冠を…… 蹴飛ばした 九州山
栃木山の堂々たる大關振 兩國の俊才と對馬の鈍才

大錦が橫綱として未成品であるといふ事は何人も之れを否定する事は出來ないだらうが、栃木山の大關振は頗る堂々たるものがある、たとへ敵方の兩橫綱と雌雄を決しなかつたにしたところがそれは栃木山の大關としての實力に非を打つべき理由とはならぬ、その取口を見るに彼の唯一の武器とする

△筈手の押は 元氣に任せて益々鋭ぎかりしもの丶如く、亦比較的その短所と見られてゐた四ツ身に於ても餘程圓熟して來たあとが見ゐる、大戸、敗島、土州山を寄切つたのは後者を事實に示したもので紅葉川、玉手山、伊勢の濱、千葉ケ崎、朝潮、濱砂石、黒瀬川に容易く勝つたのは前者の機先性の筈手の强襲を確實に證明したものである、その後れた脅力と肩の力を善く用ひて筈にかゝり袋の口を絞るやうに進む時そこに

△一分の隙も 無い、大きい所が無いといふ批難があるかも知れぬがその代り鋭い所がある、その相撲振には危なげが無い、押しも押されもせぬ立派な大關である、九州山は三役力士としての總べての條件を備へて居る初日以來元氣に任せて盛んにその專門の剛快な押手を以て堂々と立向ひ已に大關問題まで起しかけたが九日目に黒瀬川に上手を引かれて投を打たれ十日目大戸平の下手投を支へ得ず可惜大關の冠を蹴飛ばして了つたなどは彼にとつて第一の缺點である、體に伴ふ腰の弱きを示したもので彼にしてその

▲出足の俊捷 を缺げば頗る不器用千萬な凡力士に終るであらう、押手以外に四ツ身の練習に意を用ふる事は彼のために刻下の急務であらうと思ふ、兩國は七日目敗島との相撲に危ない一點を拾つて辛くも五敗四勝したために九州に先きを越されるにしても張出位に止まるを得たがキビ〳〵した取口に兩國の兩國たる事を示したのみで評を加へる餘地は無い、對馬洋は例によつて例の如く鈍漢振りを發揮して振はぬ事夥しくそれでも天性の剛勇は一ツの星を殘し得た、宮城山はいよ〳〵

△强味を加へ 來り僭離を拔いて來場所には小結として三役に入るを得べく之れに反して逆鉾、一港、駒泉等は遂ひに現位置に止まるを得ぬ事となつた、殊に駒泉に至つては今場所の活躍を最も多く期待されながら相も變らず引張り込んで叩くの策戰を改めぬために惜しき星を輸はれたのが多く、此の非を覺り長身を利用する突張りに自己を潤かぬ限り三役力士たる事は得ねであらう逆鉾、一濱、釋迦ケ嶽は位負けがした、源氏山、宇都宮は依然として吳下の舊阿蒙、源氏が

△殘した星も 自慢にはならぬ、遂の矢は好力士、氣をよくして立ち向へば相當に働けるもの、常の花又新氣縱橫の快力士彼の前途は燦々として輝いてゐる、來場所中軸に進んでの活躍を望んでおく大潮は戰かはざるに已に敵を吞む槪快な力士、飽くまでも骨太く肉硬く何者をも突破せざれば已ぬ强味を有する者、來方に復歸して出羽の海、井筒系の俊才を向ふに廻しての活躍振りを來場所に待たう西の海、綾川、小常陸は共に許するに忍びず淸瀨川、彌高山、大の高等の新進は來場所東方へ復歸してのちの成績を見る事とする(つゞく)

●狂犬續々 小兒を咬む=咬傷被害犬多し 市中に現はる

昨今京城には狂犬頻發の有樣にて二十二日の如きは數個所に發生したり浦尾旅館附近にて一頭の狂犬出現し笠井町金利植(三八)の

▲脚部に咬傷 し龍山漢江通十五番地若松某の飼犬も隣家の毛塚みつ(七)に咬傷し蓬萊町にても一頭の狂犬現はれて路上を狂奔し小兒、飼犬、家鴨、鷄鳥等出會したるものを悉く咬害したる騷ぎに警官住民等追跡したるも

▲遂に姿を晦 ましたり此他北米倉町にも一頭の狂犬らしきが斃死し居るを發見し取調べの結果咬傷被害犬ある模樣にて死犬に就いては目下鑑定中なるが倭吉野町一丁目にも一頭の狂犬出現し附近二三の飼犬を咬傷したる模樣なりと

●猪二名を咬む

慶北迎日郡滄州面上政里居住崔南淑、吳先伊(二二)の兩女は去る七日午後四時頃同地雲丈山にて草刈り中突然一頭の野猪現れ驚きて逃ぐる隙もなく其の牙に掛けられ崔は左の股を吳は左の乳の邊りに傷を負ひたるも幸ひに二人共生命には別條なしと

●石で命を取る 黄海道平山郡西峰面進浦里李京錫妻崔順德(三八)は五月七日正午頃隣家申聖七の二男車鍾植(八)が草花を折取らんとするを認め石を投げつけたるに背部に命中し之れが原因となりて鍾植は十四日午後遂に絶命するに至りたるより順德は十六日新幕憲兵分隊に引致目下取調べ中

●放火犯人捕はる 平北江界郡高山面美油洞農李永根(三六)は四月二十六日夜豫て怨みゐたる同里陸承賢方の倉庫に放火し倉庫及び住宅に延燒し百二十餘圓の損害を與へて對岸支那地に逃亡しゐたりしが頃日舞び戻りたる所を高山鎭憲兵分遣所の手に逮捕されたり

●私が死なば涙の一滴位ゐは
處女の貞操を守り怨を呑んで自殺

和歌山縣那賀郡粉河町大字粉河字田中ゐい長女こみ(一七)は幼少の頃父を喪ひ母の手一つに育てられ小學校を卒業後看護婦 たらんと志望し居たるに丑叔母に當ることめ(四)が廿言を以て昨年三月七日朝鮮に連れ來り倉[illegible]京屋事中村萬吉方へ二百圓にて酌婦に賣り飛ばされしが京屋にて處女の身に耐ね能はざる事を强ひこみが之を聞かざるより折檻を爲しこみは涙の乾く日とても無かりしに京屋より更に六百圓にて蒲洲の某料理店へ賣られんとする話を聞き最早

▲一身の貞操を 護る能はざるを悲しみ意を決し遂に去る十四日十七歲を一期として京屋にて縊死を遂げたるやにて哀れむ可き遺書を枠の許に送り來れり然るに一方叔母及び京屋にては自殺せる事を秘し病死したる如く裝ひ十六日朝八時母の許へ病氣危篤の旨打電し一時は後死去の電報を發し瞞著せんと圖りしも數日を經て前記の遺書到著したりしかば母は打驚き遺書を抱へて悲嘆に暮れ居れり遺書の大要左の如し(大阪特電)

十七歲を一期として、父上様のお傍へ參ります、世に私ほど不幸な者はなし十六の春此地に渡り酷い迫害した揚句女の意氣地とは云ひながら白絹までして(中略)如何に薄情の主人も私が死なば涙の一滴位ゐは濺いでくれる事でしよう(以下略)

捕虜物語
▽獨軍に捕はれた▽
回牛馬の如く虐使せられ回九死に一生を得て歸還回

□故郷に歸る 途中であると露都から歸朝の途次私は列車の中で、いふ露西亞兵と談話を交へる事が出來た此の露西亞兵は名をステフワノ、ラパフコフと呼び東伯利亞のプラゴエチンスクの者で年は三十五歲だと云つて居つた此の男は開戰後間もなく召集されて南露西部戰線に從軍して居つたが千九百十四年の十一月ワルセウ戰の最初に

□獨逸の捕虜 に成つたそれから一定の場所に收容せらるゝ間は名も知らぬ土地をそれからそれへと引摺り廻され言語に絶ねた酷使虐待を受けた先づ最初は鐵道工事に從事して居つたが此の間はまだよかつた其の内に獨逸國中の畜馬及び車輛が漸々軍馬に徵發されて國内の運輸力が減殺されて來たのを見て獨逸の官憲は捕虜をして

□馬や車の代 りを勤めさせる事に成つた馬の牽く荷車も牽けば馬の代りに工場へ材料運搬もしたそれも殆ど夜晝なしに働いて僅かに寢る處は大きなバラック建の中に土間に一枚づゝ板を並べた處に千人づゝも一緒に羊の子のやうにゴロ〳〵と寢るのだからとても堪つたものではないそれも著るものでも充分に充てがはれるならまだ辛抱も出來るが自國の軍隊にさへ充分に

□著物を支給 する事の能きない獨逸では到底捕虜に著せるやうな餘裕はないそれで此の捕虜の男なども捕へられた時に著て居たまゝそれが探り切れて襤褸に成つても汚れ腐つて虱が湧き出しても如何する事も能ぬ斯んな狀態であるから千九百十六年の冬などは寒氣の爲めに一時に八萬三千人も凍死して終つた、それもその筈である

□酷寒の中で 烈しい勞働を爲るのに著物は前に述べた通り何時に成つても著のみ著のまゝなる上に食物と云へば一日僅かに半ポンドの麵麭と少量の食鹽の外は充てがはれない最もコーヒーだけは獨逸には豐富であるから一日に三四杯づゝは飲ませて吳れるこれ許かりの食物では

□營養不足で とても充分に働けなく成るのは判り切つた話である、そこで少しでも怠けて居ると監督兵は一言の沙汰なしに片ツ端から何人でも銃殺して終う獨逸は斯して一寸でも弱く成つた捕虜はドシ〳〵殺して食料の節減を圖つて居るのであるが實に人道も何にも有つたものではない自分は恰度脚を

□怪我をして 既に殺される許かりに成つて居る時運よく露兵捕虜交換の抽籤に當つて放逐されたが最早足掛四年間も家と通信が絶わて居るから家族の者など何處へ行つて居るか分らぬと慾然と物語つたが彼は又言葉を繼いで我俘に捕へられた獨逸の捕虜なぞは

□勞役に服し てこを居れど衣服食料なども充分に給せられ完全な家屋の中に起臥して少し位の事では銃殺されるやうの事が無いから彼等は實に幸運であると語つた、一體獨逸人には日本魂に似た一種の抗逆魂が有つて其々捕虜に成らない露西亞に來て居る捕虜は多く墺匈國人土耳其人等である露國人は獨逸人に比して

□戰に於ても 常に不利の地に立つた事情もあるが甚だしく捕虜に成つて居る者が多いしかし獨逸の此の待遇には露西亞人も難死した方が餘程樂であつた事を感じたであらう之れに就いても日露戰爭の際日本に捕へられた露西亞人は幸福で今でも彼等は其の

□好意を感謝 し日本に捕へられて居た露西亞人は皆んな日本贔負である現に私の逢ふ二三の日本に來た捕虜の露西亞人なども非常に好意を持つて口を極めて日本を襃めて居ました(小川粲氏談)

讀者文藝 (一等に五十錢)

▲禁煙の手持無沙汰に灰が掻き　洪州　一水生
▲持て餘し分別も缺き投り出し　仁川　邪心仰
▲女房を持つて新しい味を知り　龍山　乃美
▲氣取家は釣つた時附伊達に持ち　京城　眞風生
▲持參金と聞いて大方失れと知れ　京　たけし

●詩民を欺く 慶北鬱陵島南面道洞居住の松本久松(三七)は大正四年十二月中[illegible]泉山信[illegible]外百九十五名を勸誘加入せしめ[illegible]掛金六百[illegible]十五圓を橫領消[illegible]上告中[illegible]二名に交附すべ[illegible]

●[illegible]昌信洞林召史方表門内土間に生後三[illegible]なる鮮人男兒を遺棄したる[illegible]

[illegible]福井京畿[illegible]今井甲次郎、[illegible]子、内藤[illegible]六名[illegible]松本光三郎[illegible]外八一名[illegible]二百四十名

懸賞課題及募集規定

▲題は「動かぬもの」▲締切は廿四日[illegible]

▲懸賞規定▲用紙は端書又は[illegible]▲[illegible]

天氣 晴れ後曇り

商況

債券現物特電
二十三日出來値 東京

東洋拓殖	六九、〇〇
京城電氣	五七、八〇
朝鮮銀行	一四三、〇〇
朝鮮瓦斯	一一八、二〇
南滿鐵道	一四八、〇〇

公債直取引特電
東京 二十三日出來値

五分特別	九七、九〇
五分利	—
一回四分	—
二回四分	九七、七〇
甲五分	—

深川在米特電
二十三日現在高

朝鮮米	一六四、八六四
臺灣米	五四、八三九
内地米	一、六九五、九五六

東京期米特電
廿三日前場 五月限

寄付	一九、七八
高値	一九、九七
安値	一九、七七
止め	一九、九五

大阪株式

種類	拂込	二十三日後場	前日
宇治川水	[illegible]	—	—
京阪電鐵	[illegible]	—	—
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	—
合同紡績	[illegible]	[illegible]	—
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	[illegible]	—
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	—
大阪商船	[illegible]	[illegible]	—
日本郵船	[illegible]	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	[illegible]	—
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	—
東京新株	[illegible]	[illegible]	—
大阪株式	[illegible]	[illegible]	—

大阪三品特電
廿三日前場 寄付

五月限	[illegible]
六月限	[illegible]
七月限	[illegible]
八月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]

止め

大阪期米特電
二十三日前場

寄付	一八、六一
高値	[illegible]
安値	[illegible]
中限寄付	[illegible]

め止

雜報

●綿糸亂高下 [illegible]

●露領連絡再制限 [illegible]

●過般之減少 [illegible]

●制限再び頓挫 [illegible]

●植物油昂騰 [illegible]突然二錢入一箱に付一圓方の急騰[illegible]

●精白米昂騰 [illegible]六十錢高値十八圓八十錢處[illegible]

●瓦値上後報 [illegible]値上げ更に四厘方[illegible]

●麥粉更に引締む [illegible]圓内外[illegible]

●三圓を拔き七月物 [illegible]三圓九十五錢[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 (三)巴仲買店 電話[illegible]

●增外輸出[illegible]二千四五[illegible]

●亞水利加[illegible]

●輸額激增[illegible]

●重石と水鉛[illegible]

●滿洲粟軟調[illegible]

●人氣緩和 [illegible]

●賃に三十二錢方の[illegible]落に當る

定期仲買人 田中金兵衞 電話長一六二八番・一五二二番

●不測の拂底 [illegible]製造休止[illegible]

●新種の出廻[illegible]

●夏羅紗賣澁る [illegible]二月以來約二割方の騰貴[illegible]高の影響[illegible]

京城正米
[illegible]割高の群山方面は依然他所を買漁り[illegible]以て他所買付に躍氣[illegible]又々高値[illegible]

期米
大阪期米は[illegible]遂に二十圓拔[illegible]

期米 賣買 仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 電話長三六七・三六九 電略(サ)又は(ヤマサ)

●大爆發[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

釜山穀物 (廿二日)
[illegible]

生魚市場
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三六八番

仁川期米
▲二十三日前場 [illegible]十三錢高の入電二節七十二錢三節七十四錢六節六十八錢小變動を報じ[illegible]遂に二十圓〇二錢[illegible]大暴騰臨時入電[illegible]

▲半數解合成立 [illegible]

▲立會休會 [illegible]

▲立會不能乎 [illegible]

●店に於て附け出し肩代り等の玉を各[illegible]

●形式的の立會を開始[illegible]

●立會開始は又復不能[illegible]

●總解合を斷行し以て市場を一新[illegible]

●大阪の續て大暴騰未だ危險[illegible]

●總解合の外なし[illegible]

●當中先限を合計[illegible]尙九萬餘石の大玉[illegible]

●整理頗る困難[illegible]殘玉に對する[illegible]

釜山水産市場 (二十二日)
[illegible]

戰場に活動する英獨婦人

〃男に代つて勤務＝使用範圍は廣い

歐洲交戰國では日に月に男子が出征するので農工商その他總ゆる職業凡て婦人によつて掌握されつゝありますが男子の數が少くなるにつれ追々軍隊勤務に

▽婦人を採用 するやうになつて來ました。就中英國では開戰の當初から炊事夫通信係、若くは衛生部員として軍隊の勤務に婦人を採用して來ましたが、その外にも國内の補充馬廠に於て婦人の調馬師を雇うて新馬の調馴に當らせてゐるなど婦人の使用範圍を擴張して陸軍の

▽補助勤務に 從事させやうと勸めてゐます。又此春以來は更に佛國方面へ出征の英國軍隊にも大いに婦人の使用を始めましたが、契約期間は十二箇月とされ場合に應じて期限を短縮される事もあるとの事です。先づ其種類は（一）『速記タイピスト』（二）炊爨婦、配膳、舍内雜役（三）自動車運轉手、通信手、特勤務員（四）倉庫係（五）電話手、郵便勤務員（六）其他の雜役等ですが、給料は

▽勤務の時間 に應じ一週二十志乃至五十志にして、年齡は二十歲から四十歲までの婦人であるとの事です。又獨逸にては千九百十六年十二月五日戰時補助勤務法を發布して、滿十七歲から六十歲に至る迄の男子を悉く陸軍官廳及び軍事的施設に於ける軍人の代用として使用するに至つた事は既に知れ渡つた事ですが近來また大いに婦人の

▽使用を奬勵 してゐます使用箇所は（一）各隊及び聯隊司令部の被服庫にある在庫品の整理と手入（二）各隊及び病院の炊事場に於ける炊爨及びその補助（三）手工場に於ける被服の修理（四）衛戍洗濯場に於ける勤務（五）病院に於ける看護（六）砲兵廠及び輜重廠に於ける兵器彈藥及び軍用材料等の整理及び手入（七）地方官衙糧秣廠及び補助倉庫に於ける

▽食料の出納 及び整理（八）各司令部及び官衙の事務に於ける書記『タイピスト』速記者及び電話勤務員等でありますこれをもつて見ますと英獨の婦人は今や戰線に於ける男子と等しく、自國の運命のために活動しつゝあるのです。

造船所では註文に應じ切れぬ

是れから益々忙しい我が海運界

歐洲戰爭開始以來の潛水艇の跋扈跳梁の爲め聯合國側船舶は最近一箇月平均約五十萬噸の損傷を受けて居る有樣で若し此勢で進めば聯合國の輸送力は寒心すべきものであると日英米三國協同造船問題の惹起したとは世上一般熟知の問題であるが假令造船力が進んでも此れに伴ふ

◆船員の補充を 如何するか戰前に於ける我國の造船能力は一千噸以上の船舶建造能力を有する造船所は九箇所で一箇年平均十萬噸乃至十二萬噸の造船總噸數であつたが世界的船腹の不足は海運界稀有の活況に入つて今は千噸以上の造船能力ある造船所は十六箇所に及び造船噸數

◆五十萬噸以上 に激增した大阪でも目下築港から木津川尻南側にバラツク建の造船工場は軒を並べて晝夜兼行造船に努めて居るのは造船注文が多い爲め造船所では注文に應じきれず各船主個人に造船して居る次第である以上の狀態で船舶は更に增加してゐるがこれに伴ふ乘組船員の

◆補充は如何か と云へば遞信管理局海事部大阪出張所の調査に基く港務事務官の談に依ると『船員の不足は自然である然し世間で心配する程でもなく今や英米兩國共に造船材料の輸出を禁止して居るので我船界も思つたより仕事が捗らない樣である隔月當部で甲乙兩三種の船員試驗を施行して居るが餘り戰前と差異もなく大正三年中の受驗者は三千五百二十八人で此内合格者は八百二十一人同五年には三千九百八十五人の受驗者中合格者は七百八十二人の割合であつたが本年四月の一箇月中で千五十二人の受驗申込者があつた此は本年八月から海員試驗制度を

◆實施する影響 で同法施行後は鳥渡試驗が至難くなるから遽に

◇二十餘臺の自轉車を連ねて

二百餘里を一氣に

全北忠南の曠野を踏破す

全北益山郡五山面にある不二興業會社の農場では十五日正午金堤分派所に各分派所主事廿名と五山里農場員三名とが各々自轉車を踏んで集合し午後一時四方技師引率の下に意氣軒昂として出發したが旅行の目的は全北忠南地方の各農場、精米工場、學校等を視察し採種田苗代成育狀況や緑肥栽培紫雲英刈大豆成育狀態等を始め一般農況視察調査等農上諸種の見學をなす由にて廿三臺の自轉車を初夏の風薰る平野に奔するは如何に壯快であらうか行程二百里十日間の往復豫定中には種々有益なる見學と併せて時には滑稽なる失策も演出せらるべし（大田）

●學生彌勒登山

▽益山郡内公立小學校と普校

の生徒廿六日結束して出發

昨年末各公立小學校五校と普校六校との校長會議が益山郡廳で開かれた時に朴益山郡守は内鮮人融和親睦の機會を促進する目的の下に各公立學校の生徒を一箇所に集めて聯合的に何か催してはとの主唱に各校長も大いに賛成を表して其方法を研究の上決定實行することになつて居たのが今度愈々實現した其は表題の通りに來る廿六日早朝各校の生徒は步行と登山宿營に耐ゆる高級生を校長敎員引率の下に各々在校地を出發し益山郡王宮面彌勒山の高峰に登攀して獅子庵、王宮塔、路上塔其他の名所舊蹟を觀て最高峰に十校の學生約八百を引率者參加の父兄有志や寫眞班等を併せ無慮一千名の内鮮人が異口同音に天皇陛下の萬歲を三唱した後は又々山上より全北の大平野を一望の下に瞰下し豪壯の氣を養ひ古都の歷史を知ると云ふ誠に結構な思ひ立ちであるが極めて近距離の礪山普校と所在地の益山普校丈けは即日歸宅するも他の裡里小學校普校大場小學五山里小學黃登小學に咸悅小學と普校及び龍安普校の八校は諸所分宿して翌廿七日夫れ〳〵歸宅する筈であるが宿泊所其他の設備は益山普校が專ら其衝に當る筈で食料は益山郡守朴榮喆氏が寄贈するとの事だ詳報は記者も參加する積だから歸來再報するが何にしても全北道内最初の試みであるし斯く多數の學生が一所に集合して斯る有益なる企に參加するのは何の點から見ても結構な事で効果の彌が上に大ならんことを祈るのである（大田）

●絞殺事件公判

全羅北道金堤郡白鷗面白鷗里金姓女（二三）は蔡俊默と云へる夫ある身にも拘らず曾て近隣に居住せる金成澤と道ならぬ關係を生じ去る三月二十七日自宅に於て互ひに密會中夫俊默に發見せられたるより後難を恐れ金成澤と共謀し木綿紐と眞田紐の二筋を以て夫俊默の頸部を卷き梁に結付けて絞殺したる件發覺し去る四月十九日光州地方法院全州支廳にて死刑の宣告を受けたるを不服とし控訴の手續に及びたるが二十三日大邱覆審法院に於て公判開廷（大邱）

●大膽な白米拔取

釜山市内の米穀商には從來不正業者ありて他所に輸送の途中往々苦情を生じ居れることを釜山警察署に於て探知し凡そ見當を附け不正業者の檢擧に努め居たりしに本月十二日埋立海岸通りの途中に於て白米運送人のあるに拘はらず荷車に積み居れる叺に指しを入れ白米を拔き取り居れるを巡廻中の國巡査は迂散の所爲と訊問せし處該白米は前日牧の島漁業早間七松が埋立新町灘波悅藏の支店なる濱町の米店より三十叺を買約し樽入を爲し運送を托したるものにて同店員山口縣吉敷郡吉敷村生れ土肥賀恭（三六）は店員坂本德夫に命じ運搬の途中にて一叺より七八合宛を拔取らし居れる旨申立しより運搬人夫佐伯好藏（三三）と共に本署に引致し取調べ中なるが此以外に於ても斯かる所爲の少なからざる由なるを以て嚴重なる取調べを爲し居れり（釜山）

●裡里佛敎婦人會

大谷派本願寺裡里佛敎婦人會は廿日午後より同布敎所に於て春季大會を催し廣幡主任の佛前勤行及び『運命』と題する講話あり佐々木顧問左堂醫師の演說會計決算報告等ありて閉會續いて餘興の箏曲尺八の合奏手踊淨瑠璃等あり折詰辨當と淸酒を開いて半日の淸遊をなし午後七時頃散會せしは近頃稀なる盛會にて會員其他の出席無慮百名に達せり（大田）

●虛榮と實生活は兩立しない

日本婦人と粗食

吝嗇家には肺病が多い樣に思はれます、それは營養不良から來るのが原因で又其他の不自由なのも伴ひますが金と命の秤量が出來兼ねるのがもとだらうと思ひます

◎世の中の あらゆる贅澤をして御覽なさいとお勸めする幾何も無くしてずつと體量が增ねて來ます病ありつゝも尚且からなのですから平常もつとよい生活を續けたならば病氣に冒される憂ひもなかつたでせうに……是を以て見ても粗食でよいといふ原理は通りません

◎高いもの を少し買つて旦那樣の前へだけつけるそれは日本婦人の美德としてありました、女が粗食に甘んじて多くの子供を生み健在したといふのは昔のことです、平和な社會に平和な家庭に家の中ばかりみつめて頭腦の働きの要らなかつた時代です、これからの

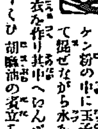
◎活社會は 機械扱ひされた女が人間として相當の頭の働きが必要です、社會に遲れまいとすれば交際に讀書に子供の敎育に忙しい夫君の手紙の代書位は必要です一方には婦人の職業敎育も開けてゆきます

◎粗食に甘 んじ靑い顏をしては居られません、さればとて贅澤な營養分は凡ての家庭に望む事は出來ません、廉くて簡易な滋養物こそ肉の滋養分は骨の近くにあります、其煮汁は勿論よく又ぞんざいな屑肉は消化するものです

◎此點から して切出しとあらとは最も廉くて最も滋養物であります下手な虛榮は廢して適應した料理を與へ樣方にお勸めしたいと思ひます、菜食者は長い活動には堪へられず肉食のみでも糖分が强過ぎて一種の病氣に罹り易い

◎兩者を取 り交ぜた調理法こそ望ましいのであります、下等な樣ですが前述の樣な滋養分を加味して一家揃つた食事は最も樂しく最も有益であります、三錢五厘の切出やあらが恥かしくて買はれないといふのは日本婦人の

◎腦頭の小 さい意味を證明して居ます、偶々買つてる人があると思へば犬にやるとか猫に食べさせるのだとか必ず文句をつけて買つて行く、めくら縞のもじりを著たおかみさんが默つて堂々と買つて行くのは可憐でありますす、事實に適當した生活を營むのに何の恥がありませう虛榮と實生活とは決して兩立しません（栗醫師談）



▲葵ねんどう精進揚 ねんどうの兩端をつみ取り洗つて水氣を去り四く切りて別にメリケン粉の中に玉子を落して溶き混ぜながら水を少し加へごろりとしたる衣を作り其中へねんどうを入れ適宜の大きさにすくひ胡麻油の煮立ちたる中に入れて揚げる

▲胡瓜と果物のサラダ 胡瓜を薄く打ち輪切りして揉みざつと水洗ひして林檎の皮を剝き心を拔き一分五厘位の角形に切り夏蜜柑は袋から出して細かくほぐし以上をサラダソースで和へますサラダソースは鹽小匙一杯胡椒小匙半杯サラダ油大匙三杯酢大匙一杯を混ぜ合せて造ります

C曹洞宗別院（若草町）二十四日午後八時より地藏講說敎あり

演藝案内

有樂館 東京小林商會演藝部一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 直營 早川演藝部 電話（階上）四九七番（階下）二〇五番

五月廿二日より廿一日迄の特作大寫眞公開 資本金二億萬圓世界一の大會社ユニヴァーサルフィルム特作會社製 ロー〔illegible〕 世界的連續大寫眞『紫の覆面』全三十卷の内第一回四卷上場 〔illegible〕

▲安達ケ原三段目袖萩祭文の場 〔illegible〕

▲お名殘餘興『ルボーフ嬢』 〔illegible〕

▲神秘劇『大尉の娘』 〔illegible〕

御成座 電話一一九一番 一成美團 新派劇 酒井三郎一行

▲新派劇 來る五月廿四日より開演

大正館 櫻井町 電話八七三

▲尾上松之助以下〔illegible〕 ○史劇上野戰史天野八郎（全三卷）○米國キーストン會社特作 チヤツプリンのなぐり合ひ（全二千呎）○滑稽活劇 ○軍事活劇第十二快漢ロロー（第十九、二十卷）〔illegible〕 ○新派悲劇いろ姿（全三卷）〔illegible〕

壽座 京城壽町 電話五七八番 大坂歌舞伎中村梅升一行 廿三日替り藝題 ▲前 源平布引の瀧 ▲中 川中島輝虎配膳 ▲切 梅川忠兵衛茶屋場 本日より各等入場料半額

黃金館 電話二六五二 五月二十日より臨時特別大興行 〔illegible〕

▲書籍案内▼

民友社名 貞觀政要 價一圓 郵稅一〇

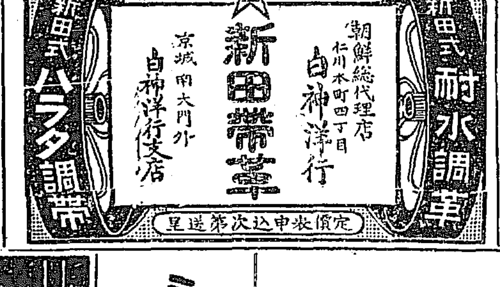
玉乃訂 撞球指南 價一圓 郵稅一五

一熊校 酒餠論 價一圓 郵稅一〇

成蹊堂書 月江和尙錄 同 郵稅一〇

發賣 京城日報代理部（振替京城二〇〇）

軍隊拂下被服類 特別廉價販賣
夏物 メリヤスシヤツ サルマタズボン下
メリヤス雜貨卸商 京城北米倉町第一一二番 村上商店



年齡十七歲以上二十五歲以下のもの
日鮮人職工募集
朝鮮人は主として公立普通學校卒業生を採用し日語を解するもの
希望者は來る五月三十日迄に履歷書を携帯出頭の事
慶尙南道京釜鐵道線龜浦驛
朝鮮織維工業所

●大募集
自動車運轉手となり海外に都會に大なる成功を望む者は至急申込むべし
東京京橋區南紺屋町 自動車學校

告京城分會員
來二十七日午後七時より南山本願寺に於て海軍記念日祝賀會を兼ね懇話會を開催す參會希望者は當日正午迄に分會事務所（電話五五九）に申込ありたし會費五十錢當日御持參の事
帝國在鄉軍人會京城分會

產科 婦人科專門 中央婦人病院
京城明治町二丁目（元漢城病院下旗通川崎大正醫院向）
（手術室 病室 完備）
院長 衣笠 電話二三四〇番

米勝株
◎確實有利 金儲新法
○圓位收利法會員に限り毎日五名宛無料口述す○化斗法大方針希望者は京城日限切抜き金二圓送れ分與す○定期米每月三回全勝法（金一圓）○丙種は會費前納不要○詳細說明郵券六錢送れ
東京小石川區表町一〇九 電小一二三 振替東京九七二 實業通信社

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド ルーフイング
アスフアルトフエルト
最上毛製屋根葺用（見本送呈）
朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話長四五番、二七七四番） 藤本釘次郎本店 振替貯金口座京城二五六番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六（府廳左横入）
東京パイン萬年筆出張所

五月 二十五 二十六 二十七 三日間
夏物 大賣出
京城本町 丸一吳服店 電二ぶ三五

宮内省御用達
三ツ矢 サイダー
平野水
オレンジ
發賣元 帝國鑛泉株式會社

朝鮮特約店
ミツワ家庭藥販賣 熊平支店
時候の變り目にミツワの藥を御用意
電話長六二四番 振替京城二二番

内科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目（品商陳列館前）電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

〔右端欄〕

…に承認したる…力なる議會の如く吹聽し講元とは碇定擔保物件ありと稱し本年四月迄に…

…二十日…に引致され…れたり…校七時半頭京城…

●船舶上陸客 二十二日午…山入港高麗丸二三等客…名西谷達三、大村有興、淺田良造…

…何者何號と明記に限り…日報編輯局讀者文藝…

明君道中記

第百五十四席 田邊南龍 演口

悪盛なる時は天に勝つ、天定つて人に勝つとか申して、本多上野介も今は詮方なく、上『我悦わなけれど嫌疑ならば是非に及ばん江戸表へ罷越すであらう』乃で速に網乗物の中へ入りました、上野介網の中を見ると八寸三分の七首一口網乗物の中に入れてあります、是安藤重長の志で江戸表へ參つて申し譯を爲やうとしても迚も云ひ譯は立ちません、途中に於て御生害をなさい乗物の内で生害をすれば發狂といふことに取捨へ御先祖御丹精の十八萬石責めて半地位殘さんとしては御先祖への不孝でございませう 越『左様に其方が申すなら腹を切るより舌を噛んで死ぬと彼仰つた、御家來方も呆れて ○『武士たる者時として切腹するも恥しからんこと、然るに舌を噛んだとて猶且痛む道理は同じことでございます 越『イヤ舌の痛むは構はん道應了見で御老中を勧められては堪るものでない、左れば腹といふものは容易に切れんものと見ゆます、網乗物の中で御生害をなされば本多の家が幾分か殘つたのでございませうが、安藤重長の志といふ老臣一同の志もござらうと網乗物の中へ七首を入れて置いた、然るに物に慢ずるといふは仕方の無いもので上野介は美事江戸表へ參つて申し譯をする考へでございますから却々腹を切ことが出來ません、最も腹は猥に切りませんもの腹を切といふのは六ケ敷自腹さへ切る人は少い位、水野越前守といふ舊幕時代の御老中が印幡沼で失策つた時に御沙汰方が心配をして ○『公儀より御沙汰の無い内御生害遊ばしたが宜しうございませう、後々の處は我々が引受け御子息を以て御相續相叶ふ様仕りますゆゑ腹をお召なさいましといふと 越『腹を切るのは厭だ ○『厭だではございません御家が立ませんから切腹遊ばせ 越『家なぞは立んでも宜い腹を切るのは厭だ ○『御家が潰れまを無にして腹を切らねばかりに、とう／＼家は、斷絶することになりました、それは後のことで、警護の者大勢附いて上野介は直に江戸表へ參りまする、偖此方は安藤の家老荻仲右衛門只一人出羽の山形へ乘附けましたが却々里程がございますが、滞りなく山形領へ到着いたしました、安藤の家來仲右衛門といふ者罷越し御目通りを願ひ度由を披露いたしました、處が鳥居左京亮忠政此度宇都宮の様子成就いたさねといふことを聞いて、今にも江戸表より大軍押寄せて來るか、それとも井伊本多の如き者を上使として乘込んで來るかと心待ちに待つて居りました、處へ安藤の家來荻右左衛門といふ老人一人見わた、老臣方一同も左様な者に御目通り仰付られるも如何押歸して然るべく存ずると申し上げたる時に忠政 忠『イヤ／＼折角罷越したる者安藤右京進家來とあらば如何様の用件があつて參つたやも計られず、對面をいたすから通せ』といふので城内へ案内いたす荻仲右衛門容子を見ると狭間には鐵砲を配り或は大砲を据ゑ、實に何うも其の嚴重なことと大抵な者なら驚くべきだが、仲右衛門流石は一人で此處へ使に來る位の豪傑、少しも臆く臆もなく書院へ通つて相待つて居ります、若侍兩名來つて 侍『安藤の家臣荻仲右衛門殿とは其許にござるか 仲『左様 侍『御目通り仰付られる此處へ』とそれから奥へ案内をされて控へて居ると向ふの襖を開き一人の者が煙草盆を持つて出で其の跡より敷物を持つて參つて其處へ直す。シーツといふ聲を掛けて立出たのは鳥居左京亮忠政でございます

京城府永樂町一、商品陳列舘坂の上
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

齒科診療 野田齒科醫院
本町一丁目三越向電話一〇四七番
齒科醫士 野田勝治

五月二十五日九星 舊四月五日丁卯 本命六白乾開友引

▲六白 油斷大敵の日新事見合南方は吉晴 ▲七赤 既発の日轉居入學金件名弘求職出 ▲八白 怒氣強き日轉居 ▲九紫 苦勞多々する事有日新事手控 ▲一白 祝福の日轉居開業 ▲二黑 泰然たる日轉居入學金件名弘家 ▲三碧 約束違な注 ▲四綠 新事手控 ▲五黄 利益増進の日轉居行

京城府大門通二丁目七番地(朝鮮商工銀行前)
入院隨意 胃腸病院
院主 佐々木杏造 電話一六五九番

▲書籍案内▼
民友社發行 女義士傳 價五〇 郵〇八
村上浪六 後編 稻田一作 價七五 郵〇八
桃川如燕 名婦傳 價六〇 郵〇八
早川貞水 赤穗 義士傳 六冊 各價 各郵
松林伯知 桃川如燕 御前講談 價七五 郵一〇
國民新聞社編 理想の家庭 價五〇 郵〇八
德富蘆花著 世界古今 名婦鑑 價二五 郵〇六
高濱虛子 俳諧師 價一〇〇 郵〇一二
故正岡子規監修 新俳句 價四五 郵〇六
山縣五十雄譯 五版小說 過去の罪 價五〇 稅〇四
德富蘆花著 小說 不如歸 價四五 稅〇六
同 縮刷小說 思出の記 價六五 稅〇六
○京城日報代理部(振替京城三〇)

自園宇治茶賣出
世界一の銘茶
一服疲勞を醫し食を消し
二服能く心身を強健にす
御家庭、御進物、御接客用には本場宇治茶の御賞用に限る
定價表(一斤ニ付)
◎玉露製 桃山 拾圓 彌壽 八圓 無極 五圓 萬福 參圓半 瑞寶 參圓 大極 貳圓半 平等 貳圓 清涼 壹圓半 全時 壹圓 延命 壹圓 紅茶(八拾錢)
◎煎茶製 大乘 壹圓半 長久 壹圓 萬代 八拾錢 喜殿 七拾錢 大和 六拾錢 平揃 五拾錢
◎折物製 一文字 壹圓半 友白髮 壹圓 雁の瓜 八拾錢 上煎音 八拾錢
◎金高貳圓以上の御注文は内地送料弊園負擔諸陸は一小包毎に増額金廿錢
◎金高貳圓以下は送料半額負擔仕候
◎御用命は御端書次第引換小包にて速に發送仕候
本場宇治茶發賣元 山城 澤文茶園
(本店)伏見桃山(自園)宇治 電話六〇一、三三三 振替大阪四〇九九
京都桃山(澤文商店)(澤文旅館)
◎發賣茶目錄及び大乘效能書御申越次第送呈可仕候

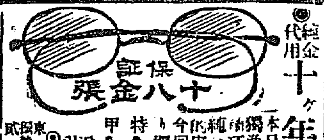
◉マラリアに一番
ヨクキクスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
價金十錢三十錢五十錢 郵稅二錢 ◉ニセモノアリ御注意◉
本舖 龍山 Ⓗ 林藥房
代理店 京城本町二丁目 山岸天祐堂

わきがは
人から きらわれる
◉音尾博士の創見
夏のアセが出る時期今が早く治癒る
藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきがの人へ氣の毒に思ひ數年間苦心研究の結果今回最も進歩したる「チゼン液」と云不思議にヨクキク信用と責任ある藥を創見致しました是迄種々責任なるありふれた

一寸素人ダマシの賣藥にて効能く御困りの人も彼是と迷わずアセの出る今の間に一日も早く此化學的藥物新療法にて全治の喜びの身となられよ 説明書無代進呈す
東京府下淀橋町柏木百貳拾番地 ハガキで申込めば直に説明書無代進呈
東京博愛藥院

通信教授 かみゆひ術 美顔術 講義
東京牛込北山伏町二 付業保證會員 帝國美髪女學院

◉純金代用 十ヶ年金張眼鏡



保證 十八金張
一本品は最新流行紳士型
獨逸より直入輸入念
精巧確實金色燦爛として
純金と些も變りなく實用
向安全第一廉價の逸品也
今回廣告之爲五百個限り
羅紗サック附實費
特金參圓五拾錢
甲金參圓(五拾錢赤貼郵券代用分け)
送料三十錢
引換小包料四十錢
◉老近眼拾錢増
東京永八榊町南新堀二ノ六
振替東京貳〇番 竹内商店

月やく
なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黃金町三丁目 山田しづわ

朝鮮人蔘 應用 ホーカースト
滋養に食べる菓子となり内服薬となる
▲堀越商店の製藥試驗部にて滋養強壯剤の朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカースト〔を試みよ〕
東京和泉橋 越堀 嘉太郎商店 (振替東京一五六)

味噌の 横綱 ほまれみそ

御婦人一代のお化粧 其五
廿歳
此の時代は御婦人の御生涯を通じて最も大切なお嫁入時で、後にも先にも一生一度の晴れのお化粧でございますが、良家の令嬢方は、平生は勿論の事、晴れのお化粧は殊に

高尚で美しい……淑女式白粉
クラブ白粉

のお化粧に極つて居ります。其のお化粧の順序は下の通りで、先づ(一)舶來石鹸以上のクラブ洗粉で能く顔を洗ひ、(二)襟から頸へかけクラブ美身クリームを擦り込んで拭取り、(三)生地まで白くなるクラブ白粉を掌に取つて襟は顔より少し濃くつけ、(四)牡丹刷毛で白粉を伸ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付け、(五)お顔にホンノリ櫻色の健康色を與ふるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷き、(六)クラブ粉白粉を含ませた眉刷毛の柄の方を逆く用いて、顔から襟へかけ能く刷均されますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。

宮内省御用達納品
最も進歩せる殺菌的常備藥
衛生口錠 カオール

□悪氣を豫防し
□疲勞を回復し
□精神爽快に
□元氣旺盛に
□音聲をよくす
東京 大阪 安藤井筒堂

汽車時間 第二 京釜線 京義線 京元線 湖南線 …

京城日報

第三版

五月廿四日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢

廣告料 [illegible]

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之[illegible]

電話番號 [illegible]

相場 安値 一七、六〇〇 一八、〇五 一八、〇〇 一八、三〇 一七、九九 一九、七 一八、六五 一八、九二

△市場不穩 [illegible]の後場[illegible]て取引[illegible]分の內賣買を停止[illegible]する事となり午後三時[illegible]市場不穩の狀態となりたち[illegible]に各限月の賣買を停止 先限の半數解合を要求するの止むなき悲境に[illegible]た市場[illegible]運命に立至りた[illegible]殘玉の整理[illegible]左れば前報せ[illegible]市場を一新した[illegible]まれざるやの[illegible]務[illegible]延引を報ぜるあり如何なる結果[illegible]方の共後大阪の[illegible]なるは今更喋々するの要[illegible]く此際總解合を斷行し以上ならでは到底平穩の立[illegible]

[illegible]奉天[illegible]官金融整理案に就き王財政廳長と商議し其積極的實行を期せんとせるが該案の主旨は先づ各銀行發行紙幣[illegible]興業銀行は目下已に完全なる官營となれるも其資本一百萬元に對して二百萬元の紙幣を發行し居り基金不足[illegible]華富銀行より嚴重に之れを取締らしめ其他裕國實業、崇華殖業二銀行に到りては資本なくして紙幣を發行し[illegible]

[illegible]月中の慶南米穀檢查の成績は[illegible]數玄米七千八百三十八叺大豆三百七十叺にして之を前月の同期に比すれば玄米は七千九百四十叺の減[illegible]は[illegible]と價格の昂騰を待ちつゝあるを[illegible]賣放さるゝによるものなりとす又[illegible]改良の成績を見るに貯藏は多く品質の良好なるものを選み居るものにし多少良好を期するの狀態を生じつゝあるを認むるにより將來益々改良の獎勵を勉めつゝありと(釜山)

日鮮滿統一論(七)

京城日報

鑛業上に於ける滿洲の位置 農業也。林業也。水產業也。鹽業也。商工業也。貿易也。滿洲に於ける前途有望ならざるは無しと雖も、而かも滿洲富源の原動力にして、將來日鮮滿蒙に於ける經濟的統一の鎖鑰と爲るものは、首として鑛業將來の發展に俟たざるを得ざる也。

滿洲は朝鮮と等しく鑛產に富めり。而して其の鑛產の主要なるものは、金、鐵、及び石炭にして、其內、從來、最も多く稼行せられたるものは、砂金採取也。砂金採取の業たる、比較的小資本を以て施業し得べく、且つ其の獲る所のものは直に貨幣と交換し得らるゝ性質あるを以て、含金府ある河川は、大抵採取の跡を以て荒廢し、現今纔に其の殘存せる區域を稼行せるに過ぎず。但し土民の採金は幼稚にして、掘り易き部分のみを採取するに過ぎざるが故に、大規模の採取法を以てすれば稼行し得べき遺利乏しとせざる也。

金鑛に於ては米人の經營に屬せる平安北道の雲山金坑の如き、英人の經營に係る黃海道の遂安鑛山の如き、又昌城金山、稷山金山の如きありて、一箇年の產額一千萬圓に達するも、滿洲に於て未だ大金鑛脈の特記するに足るべきものあらず。但し大正四年五月、我が帝國に於て採掘權を獲たる夾皮溝金鑛の在るあり。其他、金屬鑛物として銀、鉛、銅、硫化鐵鑛等の鑛床ありと雖も、現在に於ては、未だ何れも大規模の經營に屬せざるが如し。

鐵鑛の富良なるものは、東北部鴨綠江の沿岸に近く分布せられ、此等の鐵鑛は主として赤鐵鑛より成る。遼陽の南方所々に磁石と互層せる鐵鑛層あり。場所に由りては磁鐵鑛を伴へるも、多くは赤鐵鑛より成るが如し。含鐵分富良ならざれども其の鑛量多大にして、製鐵の原料として多望なる將來を有す。而して滿鐵會社の經營する鞍山站の製鐵所と大倉組が日支合辦の下に經營しつゝある本溪湖煤鐵公司とは、滿洲に於ける大製鐵事業にして、我が工業界の前途の爲にも、兵器獨立の將來の爲にも、宜しく特書せざる可からざる事也。

滿洲に於ける[illegible]產の第一位を占むるものは石炭にして、撫順、煙臺、本溪湖等の炭坑は、其最大なる者なり。大正四年五月、我が帝國が採掘權を獲たる南滿洲九鑛山の內、牛心臺、田什付溝、杉松崗、鐵廠、暖池塘、缸窰、杉松溝の如き、亦皆炭量豐富、前途有望ならざるは無し。

現在に於ける滿洲の鑛業は、二三鑛山を除くの外は、極めて幼稚の狀態に在りと雖も、鑛產豐饒、前途の多望なる此の如し。而して支那人は、工業的能力と其の資本とを缺くを以て、此の天府の寶庫を開發するは、一に我が日本人の組織的能力と其の資本とに待たざる可からず。聞く朝鮮鎮南浦に於て溶融製鍊所を創立し、買鑛製鍊を開始したる久原鑛業會社は、更に滿洲に雄飛を試み、一大製鍊所を奉天に創設し、南北滿洲及び北滿一帶に於ける鑛物製鍊の事業に著手せんとすと。此等の計畫にして愈々實際に行はるゝに於ては、今後益々滿洲に於ける鑛山開發の機運を促がし、鑛業發展の新時代を現出する、想ふに當に遠きにあらざるべき也。

要するに滿洲は交通機關の完整に伴ひて產業の發達、就中鑛業の發達を促がしつゝあり。而して支那人が日本に倚りて其の生命財產を保全し、其の權威に信賴せる狀態は、朝鮮銀行の手形が通貨として行はるゝに由りて其の一斑を窺ふに足るべし。此時に當り、我が帝國の大陸政策其宜きを得るに於ては、日、鮮、滿民族の一致抱合を見る、吾人の信じて疑はざる所也。

支那の教育宗教と眞の日支親善

原田同志社長講演概要

入京中なる原田同志社長は二十二日夜京城基督教會の講演會に臨み支那雜感と基督教の連絡に就き約一時間餘に亙る講演を試み支那の文物が如何にも宏大にして幾分統一を缺ける事及び支那の教育狀態より說き起し

△其國語研究 は彼等自身に取りても非常なる難事にして數萬の漢字と之を發音すべき數十の文字とは一朝にして能く解せらるべきものに非ず六年の初等教育と四年の中等教育を受けながら尙且つ自國語の手紙をすら滿足に書く能はざるが如き誠に憐むべきものあり而かも貧民教育の施設、幼稚園、中學、大學等漸次教育機關の發展を見つゝあるは支那の爲め東洋の爲め慶ばしき現象なるが之等の多くが西洋人の手に由り經營せられ基督の教育普及せる事亦鮮くに餘りあり此は單に教育的方面の一端なるが此他數百の病院は

△宣教師の手 に依りて經營せられ著々其の博愛的事業の進捗を見つゝある等歐へ來れば支那に於ける百年の計を以つて計畫されつゝある事業幾百なるを知らざる有樣なり而かも支那に基督教の傳道せられてより百十年此間傳道は總て外國人の手によりて經營せられ支那自國民によりて爲されしもの無きの有樣に在りかくの如く支那は政治の事は暫らく措き教育上宗教上大惡亂の狀態に在りて之が統一の必要は言を俟たざる所なりとす幸ひ支那は昨今精神的に大覺醒を來し發奮の狀あるを以つて鞏固なる基礎の上に

△一大文明を 築く事豫期し得べき現象なるべし即ち我帝國民の自覺を要する所以とす元來支那に於ける日本の評判は吾人の想像せる以下惡しきものにして彼等の日本に對する猜疑心亦多大なるものあり而かも彼等は如斯く惡感情を有するにも拘はらず提攜以つて日本の指導を受くべき事を自覺しつゝあり支那人は日本留學生なるにも拘はらず尙彼等に懷疑多きは日本が從來支那より只利益の吸收をのみ事とし何等精神的に

△彼等と融和 し救助せし事無く單に技藝智識を授けて彼等を追ひ返せしのみ(少々極端ならむも)と言ふも敢て過言には非ざるべし此れ以外宗教上慈善事業教育機關等に盡せし事果して幾何なるぞ之に反し支那の爲めに盡せる英佛の偉大なりと言はざるべからず之れ支那が政治上に於ては從來多大の苦痛を受けつゝあるに拘らず外國人を却つて信用し日本人を疑ふに至る所以ならずんば非ざる也現時世界の大勢を觀ずるに人種問題あり更に人種を超越したる觀念あり何れにするも一國民が孤立の狀態に陷る程其程危險なるもの非ざるは今次の

△戰亂の立證 する所ならずや此に於てか帝國の將來は事を爲すと同感を博し得て孤立の狀態に陷らざる事を要するなり支那人との交際の如きも全く實業的營利的なるのみならず此際吾人は大いに精神的にも融和し誘掖指導する所無かるべからず昔時彼より受けたる恩誼を想ひ今や彼等の爲めに大いに酬ゆる所あらざるべからずと信ずるもの也云々と巧みに宗教的見地より支那の文物政治教育を拉し來り說き去りて餘す所なく精神的日支親善を力說し滿場の大喝采を博して降壇せり此日參集するもの日鮮人男女の紳[illegible]約三百孰れも熱心に氏の講演を聽取し多大の興味を感じつゝ散會せしは十時過ぎなりき因に氏は英國エヂンバラに於ける基督教萬國大會の決議に基き傳道事業の實行委員中日本に於ける委員長として近般支那杭州に開催せる委員會に出席目下歸東の途に在るもの也と

遊支所感

(三) 國力發展私議

漢城銀行專務 韓相龍氏談

△國語普及問題 日本は素より東洋の新者たり、殊に支那に對しては隣邦なり、然るに我國語は支那に於て殆ど用ひらるゝの地なく、僅に邦人間に使役さるゝ小者若くは日本留學生等に止まれるは歎ず可し。國力の發展に資本、技術、智識等の必要なるは言を俟たざるところなるも國語の普及も亦た其の要件の一に數へざるべからず、希くは支那官民をして爾今益々日本に留學せしめ且つ各地に亙りて學校を設置し、出來得る限り文明的智識を注入すると共に我國語に親しましめむことを。意志の疏通が國語の了解に若くものなきは吾人の喋々を要せざる處、而かも日支親善唱和の今日に當り之が普及に盡さずんば何を以てか徹底的效果を擧ぐるを得むや。

△勢力的大資本 予は支那漫遊中、到る處支那人の我國語を習得せむとする者なく、邦人官民を擧げて支那語に精通し以て要件を辨ぜむとするを見、竊に不滿の念を禁ずる能はざりき。歐米人の如きは支那各地に於て盛に教會、病院、學校等を設け、爭ふて國語の注入に努めつゝあり、之れ洵に勢力扶殖上の大投資と謂ふ可し、日本に於ても益々經濟的施設の完備を盡すと共にまた間接的諸機關を設け、更に一層勢力の發展を期せざるべからず。地を論せず人を問はず我國語を會得するものにして我に反對するもの少きは人情上自然の理なり、支那に對しては趣味を有せる當局の一考を煩はさざるを得ず。

稅金一斑

△複雜なる稅制 支那の稅制は複雜を極め、樣々の名目下に種々稅せらる、卽ち釐金、沿岸貿易、關稅、營業稅、戶子半等一々枚擧に遑なし、就中釐金稅の如きは各省に釐金局を設け同地方經由の物品に對して通過稅を徵收す、而も同局は一省一局に止らず數局を有せる地方あり、一省を通過するに數箇所に於て徵稅さるゝを敢て珍しとせず、然れども外人に對しては條約に基き中央政府の所謂三連單なる特權を與へ、外國人が支那內地に於て物貨を購買運搬せんとするに際しては領事の證明に依る三連單の發行を受くる限り地方の釐金稅は之を免除されて稅關通過の際、戶子半稅として輸出入稅の二分一を支拂ふのみにて足ることゝなり居れり

南洋見物 (25)

書生國王となる

淺岡重喜投

サラワク王ヒームスブルックが此國に君臨せる、當時の模樣を話して見よう、恰も新嘉坡を占領したるラフルス卿に類似たる歷史がある、ブルック氏は英國人にして一介の書生に過ぎない身を以て大膽不敵にもサラワク王となつたのである。

[illegible]

ブルックはサラワクに於て統治國內の政治に努め、行政を改革し、海賊を退治し、商業の途を開き、五箇年にして治績大に擧つた、於此彼は英國に歸り、政府に逐一上申したので、[illegible]

[illegible]七十五才にして其生涯を終へたのである。彼は遺言して甥なるブルック氏に王位を讓つた、此二代目のブルック氏が八十三才の高齡を以て昨年迄自ら政務を見たのであるが、昨年の春本國に歸り、其の甥[illegible]が代つて政務を取つて居るのである。(終)

日報詩壇

○登燕京鼓樓 西田白陰

百尺鼓樓凌大空。浮雲萬里感無窮。天連渤海新潮壯。地擁長城形勢雄。空看[illegible]液池月。誰憐寂寞景山風。遼家一倒跡如夢。遠客凭欄數去鴻。

評曰。風光感慨叙得精細。遣筆如意。

○春日郊行 西村秋湖

十里原頭望豁然。吟心祇合醉花前。[illegible]牛背眠方好。春夢不知迷那邊。

評曰。寄託亦宜。

○懷鄉 安永春雨

一笛一聲鄉夢醒。梨花殘月半江亭。[illegible]

評曰。兩聯言情款款。騷筆如意。

○春江垂綸 大出水鈴

春江岐處伴閑鷗。岸柳絲絲宜繫舟。[illegible]

評曰。遺意不滯恰如流水。

六月號出來

新少年

一冊定價二十錢 ◇送料一錢

發行所 平和出版社 東京神田錦町三 振替東京八七七八

新刊

文學士 阿部次郎著

美學

哲學叢書第九編 四六版三五六頁 定價一圓二十錢 送料八錢

近來哲學的諸學科に關する著述は甚だ多きを加へて來たが、獨り美學に關するものは極めて尠く。指導者の不備甚しかつた。然るに本書は最新の學說に基いて、最も平明に、最も根本的に、而も亦極めて組織的に斯學の大綱を述べたもので、その心理的哲學的基礎の徹底せると、美術文藝の實際的理解に資するところ多きとは、本書の特色であらう。從來讀む可き美學に飢ゑて居た人達は本書によつて始めて其渴を癒されるであらう。

新刊

文學士 安倍能成著

西洋近世哲學史

哲學叢書第十編 四六版四一二頁 定價一圓二十錢 送料八錢 (年表及索引附)

邦文近世哲學史の世に出でたる者は、其數極めて鮮い上に、殆ど皆最近哲學を抄略せる遺憾がある。本書は近世哲學史の權威たるウインデルバンドが最近の著述を中心として造られ、オイケン、ベルグソンの現代に及び、近代思想の精髓を盡して洩す所がない。簡單なる敘述の中に哲學者の個性及其時代と哲學說との關係を明かならしめ、知識と共に興味を與へ、精確と共に生氣を兼ね得たる哲學史を求むる人に本書の一讀を薦める。

新刊

理學博士 長岡半太郎監修

理學士 大谷亮吉編著

伊能忠敬

帝國學士院藏版 特別大形 背革八百頁 實價四圓 送料二十錢

本書は帝國學士院の事業の一として教授長岡博士の熱心なる監修の下に篤學なる星曆研究者大谷理學士が八年の歲月を費して完成したるものなり。四六倍判八百頁敘述精緻考證的確眞に不朽の大著と云ふも敢て過言にあらず。此研究に依り日本が過去に於て如何に誇る可き多くの科學者を有したりしかを知るは學者教育家は勿論一般國民の必要知識たらずんばある可からず。忠敬翁歿後將に百年、學士院が男爵三井八郎右衛門氏の補助を得て之を發表せんとするに當り、その下命を承け此の好記念を出版するの光榮を得たるは弊店の最も感激する所にして是れ實價を以て廣く天下に頒たんとする所以なり若各學校各官衙各圖書館にて近時の出版物中永久に備ふ可き一書ありとせば恐らくは本書なる可し

新刊

文學士 和辻哲郎譯

ニイチエ書簡集

布製天金 四六判五四二頁 定價一圓五十錢 送料八錢

ニイチエがその愛する母と妹とに與へたる書簡集にして、最も眞誠の意味に於けるニイチエの傳記也。彼の內面的生活の記錄也。鬼才の天眞はこゝに遺憾なく流露して、其無邪、其眞氣、其小心、其純潔、悉く隱すなし。ニイチエを讀みて此書簡集に及ばざる者は、眞にニイチエを知れりといふ可からず。

九版

夏目漱石絕筆

明暗

津田青楓裝幀 菊判七四五頁 定價一圓五十錢 送料十二錢

漱石著(第八版) 小說 こゝろ 著者裝幀 定價一圓五十錢 送料十二錢

漱石著(第八版) 隨筆 硝子戶の中 著者裝幀 定價六十錢 送料六錢

漱石著(第五版) 小說 道草 津田青楓裝幀 定價一圓[illegible] 送料十二錢

發行所 東京神田南神保町 岩波書店 (電話本局五四二〇 振替東京二六二四〇)

支那の形勢

督軍團の反抗計畫 茲數日間最も注目に値す

倪嗣冲、王占元、孟恩遠の四氏及び奉天督軍代表、黒龍江督軍代表等は二十一日夜段總理私邸に最終會議を開き同夜十一時の列車にて徐州に赴くと稱して北京を去れり是れ一は彼等が二十一日張勳氏より其行動に賛成の電報來りたる爲め速[か]に徐州に赴き夫れより各本省に引き揚げ軍隊を左右に擁して最後の手段を執るものと解すべく又一は段總理が國內に擾亂を起して迄其の主張を貫かんとする意思なきを見透かし其の實失敗を豫期しつゝも殊更捲土重來の意氣を示し此の行動に出づるものとも觀測すべく政局は茲數日間最も注目すべし(北京特電)

段總理愈々辭職か

段總理は愈々辭職する事に決したるが之れ徐世昌王士珍等が時局收拾を引き受る事を肯せずさりとて倪嗣冲氏等の主張に從ひて議會解散を斷行する事も爲し得ず進退谷まりたるが爲めなり(北京特電)

督軍團倪氏等を訪ふ

督軍團は二十二日午前三時特別列車にて天津著倪嗣冲氏の宅に入り午後二時李純氏方にて會議し更に徐世昌氏を訪ひ午後八時同地發徐州に向へり(天津特電)

伯國中立宣言取消

伯刺爾國大統領は議會に書を送りて米獨戰爭に對する中立宣言取消しを要求せり(紐育電報)

海相首相凝議

加藤海相は二十三日午前十時寺內首相を官邸に訪問し所管重要事項に就き長時間凝議せり(東京特電)

無所屬統一 交涉

松島肇、小川郷太郎の兩代議士は京都に會同せる關西組の意嚮を齎らし二十三日歸京し中立各派代表者と無所屬議員統一に關する交涉を開始せり(東京特電)

期米變調著し

二十三日東京期米先物十九圓四十八錢大阪期米二十圓二十錢の珍値を現はし深川精米標準値段も三十錢高の十七圓八十錢となり明治四十五年以來の高値となれり(東京特電)

ラッセル氏東上

紐育日本協會ラッセル氏は二十三日神戸著二十四日東上すべし(大阪特電)

滿洲に於ける邦人の活動

臨時土地調査局長 鈴木穆氏談

滿洲には十日ゐたが其間の走行哩程は二千哩に近い、一日の活動を十時間とし一時間當り二十哩弱を突走つてゐては仲々南北滿洲に於ける巨細な觀察も可能まい、素より折角滿洲の歷巡をした以上若干の研究はして來たが、最近の色々の問題に對する予の所見は何遺憾ながら言を憚る、然し折角ながら予の滿洲に於て見聞した大體の所感を述べやう、予は數年前滿洲を通過した事はあつたが其の歷巡は初めてである、其の

▲第一印象 は何かと問はるれば總ての規模が大きい、又平野は非常に廣漠で大陸的である、これには予も驚ろかされたが、扨て在滿日本人の狀態は如何と云ふに何遺憾豫想程發展してゐなかつた、予は此行常に匆忙を極めたため多數の日本人と會見するの機會を有しなかつたが一部有力者の說を聞くとどうも

▲滿洲の日本人 は腰が据らない、滿洲を墳墓の地としてゐない、幾千か儲ければすぐ故國に歸らうと云ふ氣風がある、之れは甚だ遺憾だと云ふ、乃で予は朝鮮の定住狀態を話すと大變羨ましいと云つてゐた在滿同胞の浮腰が事實であるか怎うかは予も茲に確言を憚るが、各地を視察し、各種の狀態を瞥見して見ると、成程さう云ふ點が見ゆるのである、早い話しが撫順に行くと日本人は八千もゐる、八千と云へば堂々たる集團地だが內六千名は辭令一本で動く滿鐵の社員並に其の家族である、而して自餘の二千名も或は炭坑の御用商人とか、滿鐵社員に雜貨を供給するものとか云ふのである、滿洲の各都會悉く撫順の例で律する事は出來ぬであらう、乍然大體如斯傾向を呈してゐると云ふ事は云へるのでないか、從つて予をして正直に日はしむると

▲滿洲には滿鐵 の事業を除くと事業らしい事業はない、ないと云ふのは少し酷いが極めて少ないのである、敢へて見ても、本溪湖の煤鐵公司、鈴木の大連油房は新式で注目に値すると云ふけれど其の初めは滿鐵より讓り受けたのだ、又撫順の硫酸アンモニヤ肥料を製造する化學工業會社の事業も此頃漸く操業を開始してゐるが、撫順炭坑のモンド瓦斯を極めて安値に供給を受くるからである、滿洲各地の油房は盛んであると云ふ、大豆は滿洲の主產物で油房は滿洲事業界の生命であらう、然し其の內日本人の經營してゐるのは幾干であるか、大部分は支那人がやつてゐるのではないか、倘ほ其他に若干新事業が起り又起らんとしつゝあるが、要するに滿鐵以外の事業は僅に指を屈するに過ぎない、滿鐵は巨億の資力を有し國家的使命を帶びてゐるのだから其の各方面に亙る活動と經營が多岐多端なのは當然だが、本年から鞍山站で經營せんとする

▲製鐵事業 の如き計畫の大體を聞いても素晴らしい、乃ち三年位の繼續事業として二千五百萬圓乃至三千萬圓の巨資を投じ年額銑鐵二十五萬噸を出さうと云ふので、何でも最近工事を起したらしく本年は七八百萬圓を費すらしい、車中からではあつたが製鐵所附近の形勢を展望して見ると、鐵山連亙してゐて鑛石の鐵分含有率は非常に多いやうだ、從つて滿鐵は益々壯大に經營して行けば必らず前途有望であらうと推せらるゝ兎に角今日の如く在滿日本人の事業が乏しくては若干心細い、今少し我官民有力者は茲に心を致し既得權內に於て相當の活動をなすやう努力せねばなるまい

奉天より

▲阿片禁止調査 奉天省公署は十九日北京內務部より阿片禁止施行に就き禁煙査辦員を設けて各縣に派遣し先づ調査を行ひ後禁止辦法を履行すべしとの命令に接したるを以て張省長は史政務長に命じ候補知事中より五十四名を選任派遣するに決したるが多分六月初旬より調査を實行すべしと

▲司法見習再派 奉天省公署は昨年司法見習員を旅順に派遣し日本の司法事務を見習はしめたるに其成績優良なるを以て更に遼陽檢察廳長張概廷、瀋陽地方廳代理審判長朱頤年、營口審判廳長張務本及び學習員一名を派遣するに決し既に我都督府の承認を得たれば本月末頃出發赴旅すべしと

▲銀行調査嚴重 張省長は過般來城內各銀行の內情を調査する事嚴重なりしが二十日は財政科長張伴香氏を東三省官銀號に派遣し其紙幣發行高及び大洋票と小洋票の各類別額、現在民間貸出高、軍衙貸出高等に就き精細調査せしめたりと

▲取引所問題其後 奉天取引所信託會社創立は其後支那側加入に就き交涉中なり個々洋錢兌換問題協定等の爲め捗々しく進行を見ざりしが二三日前西宮氏は奉天商務總會楊會長を訪問して協議する處あり同問題も愈々近く具體的に進捗する筈なりと

▲蒙古製油計畫 昨今豆油を始め各種油類は一齊に騰貴し殊に精製油は現品拂底の爲め殆んど天井知らずの有樣にて內地よりの買注文頻々たるも如何せん滿洲には之に應ずるの在荷なく當業者は何れも之を遺憾とし居れるが油類の需用は前途倍々增大すべき趨勢にあるを以て奉天其他に於ける製藥業者中には內地の資本家を勸誘して蒙古に製油業を起さんと計畫せる者あり(奉天)

藥品製造計畫

大連福昌公司相生由太郎氏は撫順に鹽酸加里製造工場を設立すべく計畫中なるが該計畫は愈々確立し近く工場建築に著手する筈なり目下內地に於て生產豐富なる鹽酸加里を滿洲に於て製造する事に就きては議論の餘地ある可きも相生氏の意見は船腹不足の折柄滿洲及び支那各地に需用多き同品は之れを滿洲に於て製造供給するを以て利益なりと云ふに在るが如しと(大連)

慶北豫算認可

大正六年度慶尙北道地方費豫算中土木費四千八十六圓の追加豫算本月廿一日附を以て總督の認可ありたるが右は大邱安東間二等道路橋梁架設工事費に充當するものなりと(大邱)

英國武官入京

日本駐在英國大使館附武官ソマビール中佐は朝鮮及び支那地方旅行の爲め去二十日東京を出發し二十二日朝釜山通過馬山著二十三日鎭海重砲兵大隊を視察し二十四日京城著の豫定なるが二十五六兩日は京城及び龍山を視察廿七日元山に向け二十八日同地滯在廿九日海路淸津に赴き羅南及び會寧に一二泊の上再び京城に引返し更に平壤視察の上支那に向ふ筈

輕鐵工事近況

朝鮮輕鐵會社第一期工區たる大邱、河陽間の線路敷設工事は之を六區に分ち約三千人の人夫を使役して頻りに速成の方針にて工を進めつゝあり來月十日前後を以て路盤の工事を終り夫れより軌道の延長工事を行ひ八月中旬乃至遲くも九月頃迄には營業を開始すべく本年より來年五月に掛けては六十哩間の營業を開始するの目的にて熱心に進工中にあり大邱停車場工事の如き約一千五百名內外の人夫を使役しつゝあり會社事務所は假り建築とし社員の宿舍は會社として別に新築せざる方針なりと(大邱)

京城工產品の光榮

東京奠都博覽會に出品せし京城工產品中五月二日 聖上陛下御買上の光榮を擔へるものは海市商會出品高麗燒靑甕、菓子器、美術品製作所出品螺鈿細工重箱一組、文房具(鎭臺)井上宜文出品人蔘製劑、東亞煙草會社出品日付煙草鷄林、朝鮮煙草會社出品兩切煙草グローブ、東亞煙草商會出品金口煙草スペシャルの八品なりと云ふ

京畿春蠶好績

京畿道原蠶種製造所にては豫報の如く五月十六日より掃立てたるが早きは二十二日頃初眠中にして蠶兒の經過極めて良好なりと云へり尙又本年は所寒及び例年に比して一般氣候の遲延等の爲め內地に在りては多少の被害ありたるにも拘はらず當地方に於ては蠶兒及び桑苗の發育經過良好ならむと豫想されつゝあり

青島麥酒會社買收の顚末(二)

大日本麥酒會社京城出張所長 吉田勝次郎氏談

◎青島麥酒の沿革 偖之より本題に入りますが前以て少しく青島麥酒會社の歷史を述べて申上げたいと存じます抑々此の青島麥酒會社は獨逸の青島占領後在青島の獨逸人實業家シーダス、ブラムベッタ商會とスレンカト商會の重役が發起しまして資本金四十四萬四千弗を以て創設したもので其の當時在青島獨逸政府の煩雜な港に於て絕體的獨占麥酒會社として登錄し株主も七割は獨逸人三割は英國人と云ふ風に割り當て名も英獨麥酒有限會社と稱し權は全部獨逸人が握つて材料機械及職工まで獨逸品を使用して純然たる獨逸麥酒として賣り出したものであります

◎日本麥酒の支那輸出 當時に於て獨逸ビールが支那で賣れておつたかと云ふと獨逸ビールとかクツパビールとかレーニアビールとか又米國から來る人形印ビールとかシェリッツビールとか又和蘭丁抹から來るニー、カルルスビールとかフランツ、ジョセフビールとか其れは〳〵種々雜多のビールが卍字巴と入り亂れて戰つておりまして一寸ビールの種類を集めて見ましても三十幾種もあつたと云ふ樣な有樣で其の混戰の狀到底筆紙に盡されません、而して其の內でも青島麥酒が先づ手近の麥酒と云ふので一番勢力があつた樣でありました我社も明治三十九年從來日用麥三社合同出來まして內國の麥酒が少なくなつたものですから先づ支那に販賣する事となりまして不肖私が此の使命を帶び明治四十年初めて上海に參りまして茲に戰亂、渦中に身を投じたのです、其の頃は日本麥酒としてはアサヒ、サッポロビールが在留日本人間に一ヶ年二三百箱位需用されたもので外國人間には其のサッポロ、アサヒビールの存在さへ知られなかつた有樣で誠に心細い次第でありました、爾來十年此三十幾種の麥酒が一進一退虛々實々互に秘術を盡して戰つた結果遂に獨逸麥酒は悉く市場の跡を絕ち獨り我社のアサヒ、サッポロ麥酒と青島麥酒とが最大の勢力を擬ふ樣になつたのです

◎支那に於ける販路戰 すると大正元年に在上海の獨逸商人シュヴァーツコップ商會の出資が資本金四十萬弗で上海の郊外にユニオン麥酒會社と云ふのを新設しまして純然たる獨逸麥酒として賣り出しますし、日本からはキリン、カブトやサクラビールが侵入して來まして茲に又復大競爭が始まりました、此の時の競爭程激烈で面白かつた事はおりません、獨逸側は青島ビールとユニオンビールとが同志打してゐるかと思ふと日本側もアサヒ、サッポロ、キリン、カブト、サクラ等が之亦互に同志打をして而かも我アサヒ、サッポロは內地盟を守ると共に外外敵を打たねばならぬ苦境で此の時程苦戰した事はありません、恐らくは斯んな大競爭は再び無いでせう

龜浦織維工場竣成

神戸鈴木商會の經營に係る京釜線龜浦朝鮮織維工業所の工事は略竣工し昨今諸機械の据附中なれば豫定の如く六月中旬よりは事業の開始を見るべく目下鮮人職工約二百名募集中なるが鮮人は主として公立普通學校卒業生を採用し年齡は十七歲以上二十五歲以下のものにて採用の上は相當の給料を支給し且つ成績良好のものは技手に昇進の規定ありと

小學校教員講習會

京畿道にては來る七月二十一日より八月四日迄十四日間京城西大門公立尋常高等小學校に於て公立小學校教員夏期講習會を開催すべし

私立校教員試驗

京畿道にては五月二十九、卅、三十一日の三日間に亘り私立學校教員試驗を擧行すべき受驗總員二十一名ありと

浦野警務部長巡閱

浦野新任警務部長は國境方面隊署巡閱の爲十七日鏡城出發會寧に向け巡視せるが會寧より間島に入り更に引返して豆滿江沿岸を下り雄基に出で來月三日頃淸津經由歸鏡の筈(淸津)

島津男爵入京

貴族院議員男爵島津長丸氏は夫人同伴二十三日午後九時南大門驛著列車にて入京關屋學務局長官舍に入れり

原田同志社長招待

宇佐美內務部長官、渡邊法院長其の他の諸氏は廿三日正午入京中の原田同志社長を招待し晝餐會を催したるが出席者は前記宇佐美長官、渡邊法院長及び松永道長官、持地土木局長、關屋學務局長、金谷府尹、大田視學官、渡瀨山本兩牧師、山縣セウルプレス社長、松本雅太郎氏、阿部本社長等にて席上原田社長の有益にして興味多き支那視察談あり一同十二分の淸興を盡して散會せり因に同社長は既報の如く二十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて退京せり

產婆看護婦試驗

京畿道にては六月四日五日六日の三日間に亙り產婆看護婦試驗を施行すべく受驗志望者は五月廿五日限り願書を提出す可と

人事消息

▲勝大郞氏(覆審法院檢事長) 二十四日午前八時三十分南大門驛發家族同伴赴任の筈
▲野坂茂三郎氏(野坂農場主) 二十三日夜入京
▲臼井水城氏(辯護士) 廿三日入京
▲宮崎洸馬氏(鐵業家) 同上天眞樓へ
▲久保田積藏氏(鮮銀吉林支店長) 同上不知火へ
▲横山虎之助氏(平壤電氣支配人) 廿三日退京
▲莊澤三郎氏(鐵業家) 同上
▲湖岡光哲氏(京都商業會頭) 同上

南言北語

支那の對獨宣戰案は上げも下ろしも出來ない樣になつた▲烏渡三すくみと云ふ處で段總理一派の督軍主戰派が蛇なら議會の非戰派は蛙▲何に與ッと非常手段を採らんとすると黎總統が蛞蝓と云ふ形で睨んで居る▲之れ丈けならまだしも徐州では張勳老人が目玉をピカ〳〵させて居るので時局は益々混沌となつて來た▲此の間の情勢すべきは南京の馮副總統である▲時節もあらばと胸中に潛めた謀略乃公出でずんばの機を窺ふ內▲最愛の第二夫人は五十萬金を抱へて行衞不明となり▲四百五十萬圓の貯蓄は燼と化し了つたは烏有となる▲此の秋此の際馮將軍の失望落膽は察するに餘りあり病氣だと云ふが落膽の餘りかも知れぬ▲仁和寺門跡土宜法龍大僧正讀經付きの釋迦一族御尊像と云ふ聞ても目の潰れ相な有り難い寫眞を持て來た人がある▲何でも印度の古蹟で發見され臥兒皇帝國の滅亡と共に英國皇室の所藏となつて居るものだと▲イヤ其れは原畫で之は何とか云ふ人の複寫したものだとサ▲お釋迦樣の顏が基督に似て居る處が面白いとは失敬ぢやが▲何はともあれ鰯の頭も信心からだ似やうが似まいが其處は皆樣の御信心次第▲ゲッセマネでお釋迦樣が拈華微笑をやつたかも知れぬ▲イヤ之れは失敬南無アーメン

ワンダー
の眞價は
實際批評以上なり

大卷十三本入

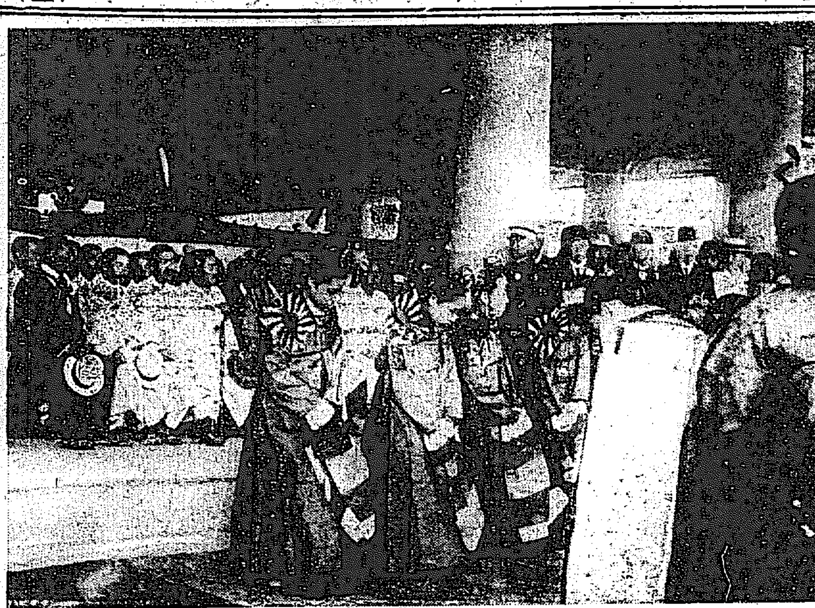
金三錢

ワンダー
の眞價は
實際感嘆以上なり

東亞煙草株式會社

●妓生の袖、虹と亂れて
◆慶會樓の花吹雪＝琴々たりや皷の音!!
間島視察團名殘の大饗宴

到る處大もてにもてた間島の視察團一行二十三日午後から景福宮に招待された、此の日は入京以來の第六日京城に於ける名殘の日なりとて團員は鮮人側大正親睦會主催の大饗宴に招かれたのであつた
◆一行は先づ光化門入口より朝鮮古代の音樂に迎へられ勤政殿には紅き心の花の徽章もなつかしく思政門より内庭に入つて更に日の丸國旗のひろがへれる慶會樓に著いた眺見れば岸の柳のさみどりに妓生の姿は花と榮えて水亭の初夏は繪の如くなるに嫋々たりや鼓の音
◆打ちひるがへす袖の香い色は空かける虹裾さもまがひ間島の人は只感嘆するばかりであつた、かくて歌裾の美人一しきり舞ひ了れば大正親睦會々長子爵趙重應氏は起つて一場の挨拶をのべ團長李熙悳氏またこれに答へて拍手の聲は石柱のかげにどよめいた、かくて李王職
◆雅樂隊の奏樂ゆるく新緑の山に谺すれば鼓には白き卓子の上、朝鮮料理の神仙爐をはじめ山海の珍味山と盛られ白き花瓶には牡丹躑躅さへ妓生の姿と美を競つてゐた


◆慶會樓の花吹雪 廿三日午後三時より間島視察團一行の歡迎に廣橋茶洞の兩妓生組合が眼もあやなる舞の手ぶり、折から水亭の石柱には白い柳絮が吹雪のやうに飛んだ

來賓には宇佐美長官並びに小原、松永、秋山氏等の姿も見受けられそれに實業家側をはじめ朝鮮貴族の人々も見えた席上趙重應子は起つて
◆陛下の萬歳を三唱し間島視察團又これに和して宴を了れば一行は再び更に茶洞妓生の舞の袖、視察團一行は心ゆくばかりに歡待をうけた打ち見やる水亭のそこかしこには吹雪とまがう柳絮の裡に妓生の姿はあくまで清楚に景福宮裡逝く春の名殘は實にも繪の如きながめであつた

●兵營見物
＝二十三日の間島視察團＝
何れも大喜び

連日連夜歡迎攻めの間島鮮人視察團一行は二十三日は方面を變へて龍山の兵營見物、宿を午前九時に出で一行七十五名電車の客となり先づ龍山歩兵第七十八聯隊の營門についたのが同九時四十分、營門には臨時に兵士が應接ひをもつて
▽遠來の珍客 の背中を擦つてやる有樣、一行これは〳〵と恐縮しながら『強い日本の兵士にこんなやさしい親切があるのか』とは上出來であつた、營庭では先づ兵士の密集教練から散開教練が演じられ最後に最も勇壯なる突撃にうつつた際には間島の珍客一同感嘆あまりある姿であつた、次いで兵舍内では一家族のやうな睦まじい
▽兵士の生活 を見物し更に軍用電話線の架設演習にはその敏捷な早業に一行の一部はそのまゝ走り隨ひつゝ向ふから『ヨボケ〳〵！』と互に會話して大よろこび俺にも貸せわれにも見せよで一時はなか〳〵電話機のそばを放れようともしなかつた、次いで射撃場では機關銃の實彈射撃ありその一分間六百發を猛射する雉射縱射にこれも
▽非常な感嘆 の聲を洩らした、終りに野砲兵第二十五聯隊の二大隊では前田大尉の指揮の下に野砲の操縱も見物し、その次ぎの騎兵隊は時間がなくて龍山を辭し一日更に孔德里なる京城監獄に向つた、午後二時からは更に景福宮を見物し慶會樓では更に大正親睦會の大饗應が催された

●靜岡縣下の火災
二十二日夜靜岡縣盤田郡山香村村田方より出火し百五十戸を燒失せり（大阪特電）

●子供の大喧嘩
京城堅志洞丁致道二男老味(一〇)同洞劉漢厚長男鳳基(一〇)の兩名は十七日午前十時頃木片一本の爭奪より互に格鬪を始め老味は鳳基の下腹部を蹴り加療一週間位を要する手傷を負はせたる騷ぎに警官出張し將來を戒めて老味を致道に引渡し尙致道より治療費を支出することとなりて示談事濟みとなれり

●有りし昔の思ひ出を
若葉の下に寛ぎて
京城高女同窓會

京城高等女學校卒業生は例年の通り開校記念日の二十三日午後一時から母校の雨天體操場に於いて同窓會を催した、一同席に就けば先づ『君ケ代』を奉唱して開會、幹事から同窓生の
▲散布の狀態 その動靜等に就き詳細の報告があり、不參者の祝電祝辭の朗讀に次いで成田會長の『獨逸の婦人』と題する訓話があつて二時過ぎに會を終り一同打連れて園遊會なる南山公園下の兒島氏邸に赴き此處で安藤澄江の筑前琵琶、竹本梅若の
▲義太夫杯の 餘興があつて之れが終ると庭の葉櫻の下、藤棚の蔭などに設らへられた模擬店が開かれた、先づ松園のおしると、鮓をばのうどん、そばを始めとしておすし、甘酒、シトロン、サイダーの類など皆相當に美しいお客樣を呼んでゐた、來會者今年出たばかりの
▲初々しい娘 さんやら第一二回生の子供を連れた奧さんやらでそれが皆學校時代の快話な或は若い心もちになつて集まつた事とて賑かな事此の上なく、かしこ此處に若葉の茂り合ふやうに寄り合つてありし時代の
▲思ひ出話や いろ〳〵懐かしい話に興じ合つて散會したのは六時過ぎ、當日は京城在住者は素より遠く永同、稷山、その他京義線より態々來會した人もあつて二百餘名、打ち解けた内にもつゝましやかな盛な愉快な集まりであつた

◆京城高等女學校同窓會

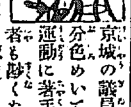
●名物の米澤紬は何うなるか
寒國の常とて草葺家根が多い

廿三日午後三時、折から間島の視察團歡迎に列席中の宇佐美長官及び高野三井物産支店長は澁澤米澤大火の本社號外を熟覩しつゝ慶會樓にて語る
◆宇佐美長官曰く 『火元の代官町といふのは米澤の舊士族街だ、電報で見れば火焰は折からの西北風に煽られて東へ東へと燃え移つたものらしい、それに各銀行や重なる旅館が燒けたとあれば市街の繁昌の中心も燒けてゐるし且つまた停車場まで遣られたとは
◆却々猛烈に燒けたものと見ゐる、自分も郷や親族もあるので何うしたことゝ心配してゐる次第、自分は一昨年鳥渡歸省したが米澤の總戸數は約六千、その中三分一燒けたから氣の毒なものである、土地の名物は例の米澤織だが意外のことになつたものだね……』
◆高野省三氏曰く 『火事は甚火事のやうですが由來甚火事といふは却つて猛烈なものです、それに私の街は寒國のこととで瓦屋根がなく主に草葺家屋だから點々そこにもこゝにも飛火したものだらうと思ふ由來米澤といふ所は山に圍まれた擂鉢の底のやうな土地で
◆水は家々の前を 清らかな小溝が流れてゐる稀潤澤ですが大火に際しては役に立たなかつたと見ゐます、燒けた監獄は街の中央ですが各學校や舊上杉家の城址にあつた公園附近に在りますので隨分火焰になで廻されたものと見ゐます但れ宇佐美閣下などとも御協議して醵金でも送りたいと思つて居ます……』

●書畫展覽會 海岡書畫研究會創立二週年記念
子爵金允植氏を會長に子爵趙重應氏を副會長とせる長谷川町海岡書畫研究會は創立二週年に相當し研究生の成績頗る良好なるを以て來る二十六七兩日を卜し朝鮮料理明月館に於て研究生書畫展覽會を開催し一般人士の觀覽に供する筈なるが山縣政務總監貴族其他在京斯界の大家は大に出品を發し各其揮毫の書畫を出陳して展覽會に光彩を添ゆることゝなれり尙當日研究會にては海岡先生揮毫の扇子多數を準備し相當の代價を以て希望者に頒つべく目下準備中なりと

●五名で袋叩き
岡山縣和氣郡伊里村大字穗浪生れ當時慶尚道德郡盆德面鳥洞居住美木増次郎方同居の漁夫小山總太郎(三五)は十八日正午十二時頃同地田中正次郎方にて同業者と飮酒中田中彌右衛門外四名と口論の末爭鬪を始め前記五名の爲め袋叩きに遭ひて重傷を負はされ翌十九日午後三時頃終に絶命したるが加害者五名は直ちに同地警察署に引致され目下取調を受け居れりと

◉仁川商業專修講演會 仁川商業專修學校にては二十四日午後一時より講演會開催龜島鮮銀支店長の支那視察談ある由
◉仁川消防會 月並會 仁川消防組にては二十四日午後六時より消防詰所に於て月並會を開催す當番組は竹生島(村谷、田邊、稲生門)大石、新木、其他田村、八島、羽衣、三崎、松風、三井寺、鐵輪等あり
◉加藤神社春季大祭 龍山和歌の浦加藤神社春季大祭は二十四日午前十一時より執行の筈なるが當日は餘興として午後一時より角力淨瑠璃、時より筑前琵琶煙火打上等ある由

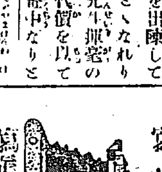


京城の議員選擧も大分色めいて來た既に運動に著手した候補者も尠くない殊に寫眞通信社長の安藤靜君などは數日前から大和町一丁目に選擧事務所を設け有權者に依賴狀を配付するなど隨分と早手廻し▲處が其の依賴狀を見た或る有權者曰く『安藤君に苦戰だね』と『何故其麼事が分る?』と訊くと『なあにアンドがならねからさ』▲依賴狀と云へば洒落だか何だか『有權者諸君に對し其の終りの方へ『竹植うる日や翼ふ雨の蔭』『筍や雨露の惠みに伸びんとす』とある是には大分首を捻つて居る者が多い▲黄金町の見世物小屋の前を通ると男三十五貫な西十何貫と書いたビラが下つて居る恐しい大きな人間もあつたものと思つて好く〳〵見るとナーンだ印度の何處とかで捕獲した大蛇の事だ、男女が振つて居る

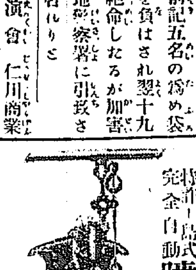
（右端欄）
……不完全なりし爲め去歲豪匪の擾亂……來吉林陸軍四旅を同地に駐紮せし之れが防備に任せしめしが同省當局は今回之を撤張して伏農鎮守使に……より開業する事と……たるが之れを三十萬圓に増資し其規模を擴大して專ら對支……
……野砲第……中隊長松瀬篤……爲め……二十三日停職を命ぜられたり（大阪特電）
……を以て只今自宅に強盜數名押入り危險迫り居れば直に貴隊より兵士の派遣を請ふ旨申込みしに因り同隊にては其旨釜山警察署へ通知せしに同……て斯かることなく全く何者かの所爲なるべしとの事に取調べの結果同家に同居せる朔の藤一なるもの附近の家にて飮酒し泥醉して斯かる惡戲……
●放火犯は五年 平北義州東亂洞金承瀷(二十)は義州蒼會社に放火し三月廿五日新義州支廳にて懲……るものと思料するを以て原判決の上被告を懲役七年に處すべしと論告したるが結局被告の控訴は理由なきものと認められ此控訴棄却さる
……妓華……中山……を持掛け遂に同方まで……せず藤……は幸拒取けして寢入たるに翌十八日午前六時頃左の中指に差し……尾孫之丞(三六)と云ふ石工……此者は草梁居住……き取調中

商業登記
朝鮮皮革株式會社ハ取締役金子圭介、宇賀厚彦、佐渡秀光、菅川廣最ハ大正六年五月參日各重任シ同日右者取締役ニ當選就任シタリ
東京市麻布區富士見町四拾四番地 賀田直治
右大正六年五月拾五日登記
京城地方法院永登浦出張所

一、ショベル外參點
右賣買ス詳細ハ五月二十二日以降ノ本府官報ニアリ
大正六年五月二十二日
京畿道


寫眞機 寫眞材料
京城府明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二二〇番

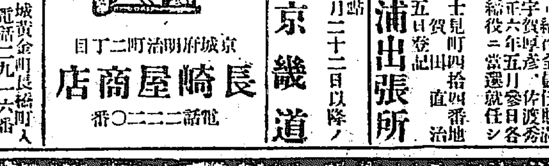
大口歡迎 質
京城黄金町長橋町入 電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

紡織工場用 特許島式完全自動噴霧器

名古屋市南區熱田白鳥町
機械商 都築商店
電話四八番二八九四番

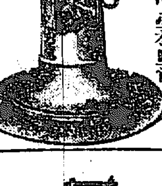
京日案内
一回前金（二行）……番外一回前金……
▲申込後中止の場合は返金せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
◉藥劑師入用 希望の方は履歷書携帶本人來談但し市内相當の保證人を要す 京城鍾路二丁目 井上藥品部 50
◉ミシン職工入用 男ノを問はず大至急 年嬢大和町 小野屋商店 49
◉記者及外交員募集 希望者は履歷書携帶來談あれ 京城吉野町一丁目 二二七 皆川 電話一七七二番 46
鯨 尾羽毛 香月商店 卸小賣 京城明治町二ノ四 八2
事務員招聘 給験有無不問履歷書携帶午前中來談要保證人二名 旭町漢陽公園登口第一生命朝鮮地方部長堀田 34
▼古本 古樂器買受は絕大の信用ある 電二五一 本町ウツボヤ書店 振三三 963

番外
鑛山鋼製作品 京城本町一丁目 電一六三 振替二二〇 佐野彥商店 48
入院隨意 大狂犬病豫防注射 小川家畜醫院 京城明治町一丁目 47
恩給年金即時立替 勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受 銀行爲替付受放資之好期不可逸 京城若草町六番地 電三千十一番 西村商會 15
問合乘用自働車 京城春川 京城水標橋通り八時 京春川發前八時 春川自働車商會 支配人松田壽男 京城電話二一三八番 70

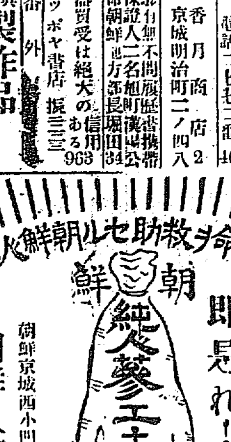

女學世界 六月號
一年草……晶子
銀杏の葉……雅
二名家の世態觀察
傳說『七不思議』……
姿見の前……
獨逸の女子教育……谷本文學博士
婦人と公共事業……山脇法學博士
紅筆日記……
虛榮の愛に中毒せし令孃……
波斯の美姬の不思議なる戀愛談、冒險談
千一夜物語……
千年前の風習人情を窺ひ得る長篇卅頁
生理上から見た大人と小兒……
修養一家言……
南大門の人影……小林吟子
從姉妹の會……粟津優美香
季節果物料理……
和洋食品名稱の由來……
大好評連載小說 春の炎……素木しづ
毒蛇……內藤千代
定價廿三錢（郵稅三錢）
東京本町 博文館 振替東京二四〇番

內科小兒科 婦人科眼科
二元堂醫院
京城南山町二ノ四六（三越合宿所上）
電話一壹二四番 小山亨


山葉西川製オルガン特約店
京城府南大門通二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話長四〇二番 振替京城一〇五八番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
和洋金物一式
佐藤半次郎商店
京城本町三丁目
電話二二四番 振替京城一三一〇番

時計卸商
登錄商標 TRADE MARK K
京城黄金町二丁目
喜多金光堂
電話一〇一五番 振替京城七八二

幾千万ノ人命ヲ救助セル朝鮮人蔘ノ成力!

朝鮮 純人蔘エキス
御尋ねの靈藥は即是れ!
○御注文は『ハガキ』で御申越下されば何處迄も直ぐ御送致します
各品定價表
○內用エキス 十日分 金……
○外用エキス ……
○人蔘粉末 ……
○煎用人蔘 特等品……
朝鮮京城西小門町三十五番地
朝鮮人蔘製藥所
電話四五八四番 振替京城四二〇六番

消毒石鹼 アルボース

京城西小門町二一番地（旧晉醫院跡）
入院隨意
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
醫師 上野和夫
電話八八五番

花筐（四）

松田竹の島人作

彌吉は、京子から許されたので、女を呼ぶことに爲た。

彌吉の女は、京子に逢つて、父を使つてくれる禮と、自分が厄介に爲る禮とを演べた。

京子は彌吉老爺の女に逢つて、意外なのに吃驚した。彌吉老爺が言ふたには、女は鎌倉で奉公してゐると單に奉公と言ふからは、粗野な百姓老爺の女であつて見れば、其身分から考慮へても、下女奉公してゐるのだと思つたのであつた。ところが逢つて見て、其服裝が大島の袷に、御召の羽織を著てゐた、丸顔で鼻筋通り、黒眼勝ちで、口を利く時に、靨が出て、そして金歯が煌めくのが、彌吉老爺の女らしくないのに、眞物がそれとも鍍金か分らないが、金色をした指環を、右の藥指に嵌めてゐるし、持物では菊五郎の紋の、重ね扇を刺繡にした煙草入と、蔦を彫つた銀の烟管の贅澤さと、其頭髪の結い振りや、ものゝ言ひまはしや、物腰恰好が什麼も堅氣の女らしくなく想像とは全然違つてゐたから、驚いたのであつた。

けれども京子は、それを口に出して言ふやうな、端ない婦人ではなかつた。程よく逍つて、茶菓子を紙に包んで、持たせまでして歸した。

彼の女の服裝其他が、意想外であつたのに驚いたのは、京子ばかりでなく、小間使のお豐も又然うであつた。だから彼の女が歸ると、京子とお豐とは其噂をし合つた。

『奥様、老爺の女は、什麼も藝者らしうございますね。』

『然うらしいわね。妾は老爺が奉公してゐると言ふもんだから、鎌倉の何處かの別荘にでも、堅氣の奉公してゐるのだとばつかり思つてゐたよ。』

『誰れだつて然う思ひます。彼の百姓老爺の女が、正可藝者を爲て居やうとは思ひませんからね。』とお豐は嘲るやうに微笑む。

『老爺やも老爺やぢやないかね。幾ら困るたつて、女を藝者に爲るなんて、眞個に厭やな老爺だわね。』

『人の機嫌氣褄を取る醜業婦の癖に、よくまあ御挨拶だなんて、奥様に御目にかゝれたもんでございますね。』

京子は、お豐が宛も憤慨らしく言ふのが可笑しく、笑ひながら

『豐は大へん憤慨するのねえ。』

『だつて奥様然うぢやございませんか。縱令藝者を爲て居ましたつて、奥様に御目通りするのでございますから、堅氣の婦人らしく、地味な服裝でも爲て來るなら未だしもですが、ぞろりとした服裝なんかして、眞個に呆れて了ひます。』

お豐は、婦人の常有性の嫉妬から宛も憎らしく言ふのであつた。

彌吉の女は、京子とお豐が想像した通り、藝者であつた。

鎌倉の龜本といふ藝者屋の抱ねであつた。源千といふのが彼の女のことであつた。

彼の女は、地方の藝者に珍らしく藝が充分にあつたし、標緻も佳かつたから、鎌倉切つての寶れつ子であつた。

毎年夏に爲ると、東京から鎌倉へ入り込む避暑客は多かつた。そしてこれ等の避暑客が、旅の憂さ晴しに旅亭で飮んで騒がうといふ場合には、どの旅亭でも、屹と此源千へ口をかけるのであつた。

源千は、田舍藝者とはいへ、すれッ枯しで、口の悪るい東京の客を向ふへ廻して、巧く切り廻し、そして面白可笑しく遊興ばせるだけの手腕を有つてゐた。東京のすれッ枯しの客でさへ然うであつたから、鎌倉土著の嫖客を手玉に取ることは、何んでもなかつた。だから源千の嫖名は鎌倉花柳界に響き渡つて、全盛並ぶ者がなかつた。

◎蕉風會の卷 寶仙居一瓢宗匠選

涸一駄ぬ粗の泉の花見哉 其霽
花は散りみどりは肥へて夏近し 旭山
文も武も備はる國の櫻哉 不滅
蠶飼四眠我一眠の閑もなし 松華
若鮎や吉野丸その袂先き 溪舟
天井に機は釣れつ[illegible]時 不滅
空樽を太鼓になして花見哉 孤舟
花の手に買ふて提げり小鮎鮓 洗耳
物めくや三社祭の供餅 閑化
散りて偏人にめでらる櫻哉 其山
貰ひ足らぬ兒の便りなる京の餅 翁流
蜂一つ唄の間るゝ茶摘哉 不滅
花の乳呑んで肥たる小鮎哉 不滅
隣にも古蠟つくろふ夏近し 洗耳
男資る淺草祭の双子様 旭山
夜櫻や八文字に服むる裾模様 其霽
背薬にも錦な飾る蠶飼哉 溪舟
夜は松に讓りて明ける櫻哉 其山
思ふ事今日は櫻に預けたり 不滅

追加
花の下呉越の玩もなかりけり 一雅

純蔘精（エキス）
今回本願寺法主猊下御巡錫の際御旅行用として御用命の榮を得たり
△十日分金一圓八十錢 △二十日分金三圓五十錢 △三十日分金五圓四十錢 △六十日分金十一圓 △九十日分金十五圓
市内は電話にて御届申上候 地方は御注文次第
京城黄金町四ノ一〇一 高麗人蔘製劑所 電話二五九九番 振替京城一四三六番

帯あげ 帯じめ 半ゑり 腰帯 片側帯
京城旭町一丁目 ゑり治商店 電話二五六二番

男女刺繡弟子拾五名至急募集

新刊紹介

▲重要語句文例英語の基礎（第六高等學校教授佐々木邦著）人體、結婚、服裝、精神等人間を中心とせるもの二十の題目に分類し更に各題を必要に應じて細別して基礎英語を構成する單語及び語句に就き其の用法を簡明に說示せり例へば人體の門中の足に於ては足の甲、拇指、小指、足指、踵、足の裏其他に就て種々の文例を列擧し以て相異れる字句の用法及び意味を明かにせり要之日常普通に使用せらるゝ字句にして而も失念し誤謬し易きものを網羅したれば中學程度以上の學生が英語活用上の良師友たるべし（一圓東京市麹町三丁目丁未出版社）

▲立志健闘修養禪（丸山小洋著）禪的思想の概要、精神修養の理論、精神修養の實際、禪的向上の理想の四篇に分ち禪的精神修養が立志向上の根源たる事を力說せるものにして幾多の逸話俗事、詩歌を配したれば津々たる興味の裡に自ら禪の妙諦に觸るゝと共に不知不識の間に禪的修養を積むを得べし學究にのみ汲々たる學生には特に精神上の好糧として本書を薦む（五十五錢東京日本橋區濱町二の一二須原屋啟興社）

▲心の響（水野葉舟編）新體詩發達の跡と歷史的の順序に依り且列傳體に代表的の詩を選抜編輯せるものにして三輯に分ち第一輯には透谷、雨江、獨歩、天遊、等十二氏を第二輯には藤村、晩翠、泣菫、鐵幹、花外、等十三氏を第三輯には有明、夜雨、晶子等十四氏を擧げ各個の作詩に就て短評を加へたり故に啻に詩集としてのみならず又新體詩の變遷進化の跡を見るべし（四十五錢東京麹町區土代町三の六耕山堂）

▲解說要本法華經の行者日蓮（文學博士姉崎正治著）著者が日蓮を研究する事十五年前に『法華經の行者日蓮』を上梓して好評噴々たり本書は即其の姉妹編とも見るべきものにして日蓮の大人格、信仰、理想、迫害等より晩年の入寂に至る迄を十二章に涉りて簡明快潔に敍述せり日蓮思想の源泉を汲まんとする者は一讀せざる可らず（八十錢東京日本橋區本町三博文館）

▲改訂增補家庭醫學（米友近著）内容を改訂し索引を增加し縮刷して第十二版を發行せり本書は平易なる而して更に家庭的且實際的なる此種著書中未だ曾て本書に勝るものあるを聞かず一般家庭は勿論特に醫院の他に在る者には必要缺く可からざるものとして推薦するに憚らず（二圓三十錢東京神田今川小路一ノ五南榮堂）

▲吃音家庭療法（東京正音學校編）第一篇に於ては矯正上大體の理論を掲げ第二篇に於ては一般の吃音矯正法を述べ第三篇を以て各自の特種に對する矯正法を敍し第四篇には精神修養に關する大意を第五篇には療法を第六篇には會員修養資料の一部を收めたり行文平明何人も了解すべく本書に從つて熱心矯正に努めなば良結果を得べし（八十五錢東京神田今川小路一ノ五南榮堂）

▲促成走り野菜の作り方（農學士今村猛雄著）上卷に於ては走り野菜の作り方に關する準備注意方法を十一章に分ちて述べ下卷に於ては二十六種の野菜に就て個々別々に特種の手入れ法を述べ平易にして何人も了解し易く走り野菜を得る事必定なり（四十五錢東京神田今川小路一ノ五南榮堂）

▲ざつくばらん（豐田旗峰著）歐洲大戰の影響により世界が偏狹なる見地を去り東西各國の人情風俗の異同に接するの機會を得たるを機とし之を記して一卷とせるもの失策談あり議論あり諷刺あり百七十五篇の隨筆興味津々たる裡に一種の含蓄ありて而も玩味すべきものあるべし（一圓東京牛込 ... 町三東京堂）

▲ローマ字帝國（法學士加茂正一著）文字中最も複雜なる漢字を使用する我國民は之を學習に非常なる困難と努力とを要するが故に激烈なる世界の競爭場裡に角逐せんには先づ漢字の使用を廢し最も簡易なるローマ字を以て採用すべしとの見解の下に十章に分ちてローマ字帝國建設の必要を說明せり（八十錢東京神樂坂上南北社）

▲新地理辭典（小林房太郎、岡田鼎亀共著）中學程度の地理に關する熟語を蒐集し平易に解釋して缺く可らざる實例を擧げ最も簡易なる辭典として中等學校生徒の學習上の指針たると共に小學校に於ける教授者の參考書として適當なるべし（五十五錢東京神田美土代町二の一文學社）

▲實用衣類整理法 本書は衣類の整理上に心得べき染色、洗濯、汚點拔、色揚仕上、保存法、等を木綿、絹、羊毛等凡ゆる衣類の原料に就て詳細に說明したれば女學校家政科の教科書參考書として適當なるべく殊に家庭に於ける實地の應用を主とし一々の場合に必要な注意を加へあれば主婦には特に必要なるべし（一圓五十錢東京牛込加賀町一丁目廿二番地婦女界社）

▲實用丹波栗の栽培（中岡朝弌著）性狀風土、効用を初め採種、播種、接木法、移植、剪枝に至る迄十章に分ちて丹波栗の栽培法を詳說し特産地外扶桑に獎勵せり（三十五錢東京樹德馬町二有隣堂）

▲黑白（五月號）十錢東京々橋築地三の一五其社
▲經濟資料（五月號）二十五錢東京麹町下二番町六八外交時報社
▲朝鮮鐵道靑年（五月號）十錢朝鮮龍山鐵道構内其會
▲農業世界（果物栽培法號）二十二錢東京日本橋本町三博文館
▲フースヒー（三七）五錢東京府下澁谷一二二其社
▲帝國農會報（五月號）十二錢東京赤阪溜池町一其社
▲講談落語娛樂世界（六月號）三十錢東京日本橋スキヤ町其社
▲婦人（六月號）二十錢東京京橋元スキヤ町三の七白水社
▲主婦之友（六月號）十七錢東京市外巣鴨町一八二九東京家政研究會
▲少女讀本（六月號）十六錢東京々橋彌左衞門町東京社
▲花（五月號）十八錢東京下谷上野櫻木町三六東雲閣

市況

京城期米特記 二十三日後場（高瀬商會調）

仁川期米

▲二十三日後場△兵山後場延川東京十九圓三十八錢大阪拾止三十圓五錢...

...る實力の立場に於ては昨日より今後場に亘つて大阪の桑聯に一圓三十九錢切にして然り是事の人氣は各勝嚴の折柄到底本場の立合を見る能はさらんさ...せられしか果せる哉各地の立合に殆しも不慮の手張り...當然の結果のみを見るや知る能はざるも内地有數の取引所にて...立直りたるより來る

◯奉省金融整理

...に對し收縮を加へて其發行紙幣と準備金との平衡を得せしめ更に各銀行の内容を調査し...なれば財政廳より之れを補充し一切の整理を終へて再び開業せしむる事...其行爲詐僞に等しきを以て張督軍は其停業を財政部に電請したり（奉天）

◯五月上半期...

四百〇六叺の減を示せり斯く減少したるは米價の昇進せざる爲めと農家...て小口の搬出米は自然と下米の増加せるものなるが爲め上格米となる...

中古吸入瓦斯エンジン賣却
一、英國カイノックル會社製吸入瓦斯エンジン六十五馬力一臺
一、獨國ブラウンボベリ會社製三十六キロ交流發電機及配電盤其他發電用に對する用具一切備付のもの（現在二千燈點火しつゝあり）
一、內地製吸入瓦斯エンジン（二十馬力一臺）（十馬力一臺）
一、セントヒュガルポンプ（十吋四臺）（附屬十吋鑄鐵管二百五十尺付）
一、其他英國製鐵板製（直徑四尺五寸）皮車數個
一、精米機及シャフト其他皮車數個中古在品あり
右安價に賣却仕り候
諸機械並に精米業 京城府米倉町八一 安達商會 電話長一九一七番

最新刊

書名	著者	定價
銅ご鈴	豐島信一郎	二、五〇
口語法別記	文部省編	六五
東部榮會記（第九輯）	高橋義雄	五、〇二
日本石油史	伊藤一隆	一、三〇
委任契約論	吾孫子勝	七〇
法律實務總覽商法手形編	高窪喜八郎	三、九〇
商業簿記精解各論（第一冊）	[illegible]	一、〇〇
合闘	櫻井時敬	一、八〇
印度佛教史	島田[illegible]谷	一、六〇
實用衣類整理法	瀬山隆平	一、五〇
輸出貿易事務研究	吉村特	一、〇〇
死後の生存	高橋五郎譯	一、五〇
父と子	稻毛詛風	一、二〇
衞生健康地案內	中川以	七五
小鳥の飼ひ方	今村猛雄	六〇
三人の弟子	甲賀見仲	九〇
日本橋	泉鏡花	一五五
擾亂の露西亞	大瀬風嶺	一、三〇
不開の語	杉本はつ	一〇
忍術の秘意	伊藤銀二	六〇
海の嘆き	生田春月	六五
寒紅集	松浦翠子	六五

京城本町一丁目 電話六〇・二六番 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

一度親めば忘るゝ事の出來ないこの美味！この滋養!!
誰人も召し上れ——！
美味 滋養 蜂印香竄葡萄酒
朝夕飮用せば一生涯健全なり
東京日本橋 近藤利兵衞

蜂印香竄葡萄酒は滋養生薬及葡萄酒を主成分として補血強壯料を精製せる醇良品なり 毎朝夕一杯づゝで血を增し肉を肥す

磯部法學博士閲 森辯護士 五年間苦心の大著
法理詳說 判例參照 實例列用
債權者の法律顧問
本書一冊あらば敏腕なる辯護士公證人代書人を雇ひ置くに勝る。約千頁七十餘萬字は一字一句皆活きて働らく實用本位の活文字。
類書中の白眉！
著者多年の經驗と五年の歲月を費し金錢貸借抵當賣買讓渡其他一般の債權物權人權上の諸問題及實際上の事件に際會せる場合の明瞭なる解決案、債權安全、權利實行法等の奧秘を詳述するに法理を詳說し判例を參照し事實を設し一讀直に會得し應用し得る秘策悉く公開せり。座右に備へば妙案奇策湧くが如く悉く活用し得。
特價 壹千部限 壹圓八拾錢 送料金十二錢 ◆大判布製函入美本約千頁 定價金二圓三十錢
殘部僅少 直に申込まれよ
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇一〇番 京城日報社代理部

仁丹
散歩に仁丹召上れ
●毎朝のむ仁丹、終日愉快
金言 ■壓制は謀叛の最惡なるもの（バイロン）

夏が來る
ハンカチと離してはならぬ
金鶴香水
金鶴香水日本總發賣元 大阪 大崎組商會
花王石鹸製造元 金鶴香水關東代理店 東京 長瀬商會

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 五月廿九日午後四時出帆
○君が代丸 五月 一日午後四時出帆
○秀吉丸 六月 一日午後四時出帆
○神代丸 五月 日午後四時出帆
仁川港通三丁目 電話五十九番 高杉回漕

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）、牛莊行
和泉丸 五月廿三日正午出帆
換砂丸 六月 三日正午出帆
三河丸 五月 日 後十二時
仁川港町一丁目 電話十二番 堀回漕

大阪商船仁川出帆
○外航航路所屬航路（○印は...）連絡切符發賣仕候
◎關門、神戸、大阪行
須磨丸 五月廿一日後二時出
油頭丸 五月卅一日後二時出
×木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
安東丸 六月廿五日
玄東丸 六月 七日 正午出
○橫濱行
濟州丸 五月三十日後二時出
福州丸 六月 三日
×南浦行
油頭丸 五月廿八日 正午出
◎鎭南浦、大連行
安東丸 六月 二日後二時出
安東丸 六月二十日
◎大連直航
濟州丸 五月 日
福州丸 五月廿八日 正午出
◎西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
宮島丸 六月 四日後十二時出
◎清津行（元山出帆）
安平丸 五月廿九日後十二時出
◎上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
湖北丸 六月二十日前六時出
基隆丸 六月 五日後四時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と連絡切符發賣仕候 ●御乘船の方は...
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二二〇番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八
切符發賣所 仁川京城通り 朝興旅館 電話二六

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三番
鐵道會社及社外船と貨客連絡運送の便あり御用の節は支店出張所代理店又は京城南大門驛前松原運送店（電話長一七〇番）へ
○江原丸 六月 三日
○京畿丸 五月廿四日
○黃海丸 五月廿九日
○成鏡丸 五月 日
門司より釜山各港寄港基隆間航路 釜山發
○穩城丸 五月 日
○昌平丸 五月 日
○鏡城丸 五月廿一日
元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 五月 日 仲底甫港浦行 元山發
○盈德丸 五月 日 甘浦、九龍浦、浦項各寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 毎日 長生浦方魚津寄港 浦項 釜山發
○三浪丸 五月 日 長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○海州丸 ○巨濟丸 ○新燈丸 ○慶寶丸 毎日 各港經由麗水行（三日目一回木浦行） 釜山發
○平壤丸 五月廿五日 城津、清津、雄基經由浦鹽行 元山發
○順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水行釜山行に接續 木浦發
○慶興丸 五月廿七日 各港經由濟州島行西回 木浦發
○慶興丸 五月廿三日 濟州島行（東回） 木浦發
○公州丸 五月 日 各港經由郡山行 木浦發
○晋州丸 ○麗水丸 五月廿三日 各港經由木浦行 仁川發
○宗春丸 五月 日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發